

第七十四回
帝國議會
貴族院

米穀配給統制法案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十四年三月二十日(月曜日)午前十時
十六分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 開會致シマス、御質問ガアリマスレバ、此ノ際ニ御願ヒ致シマス

○絲原武太郎君 他ニ御發言ガナイヤウデアリマスカラ、御許シ願ヒマス、本法案ノ圓滿ナル運用ヲシマスル基本タルベキ必要條件ハ、米穀ノ需給ニ不安ナカラシメマス

ルト共ニ米價ノ適正ヲ期スルコトガ要點デアラウト考ヘマス、而シテ政府ノ十四年度ノ米穀需給推算ノ指示ニ依リマスレバ、供給トシテ、持越高ガ九百四十八萬八千石、内外地ヲ通ジマシタ收穫高ガ九千九百七十六萬四千石、輸入高ガ三百萬石、之ヲ合計

致シマス、一億九百五十五萬二千石デアリマス、需要消費高トシマシテ九千九百四十萬石、移輸出高九十三萬石、合計一億三千三萬石デアリマシテ、差引九百二十二萬石ガ翌年度即チ十五年度ヘノ持越高ト申サレテ居リマス、此ノ生産豫想高ニハ今回ノ米穀増産計畫ニ依リマスル内外地ノ増産豫想數量モ加算セラレテ居ルト思フノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今絲原サンノ仰セラレマシタノ十四年度ノ數字デアリマシテ、今回増産計畫ヲ立テテ居リマスノハ十五米穀年度デアリマスカラ、全然異ルモノデアリマス、即チ昨年ノ收穫ガ只今御話ノヤウナ數字ニナツテ居ルノデアリマシテ、十五米穀年度ノ數字ハソレト違フタ數字ニナツテ居リマス

○絲原武太郎君 御答辯ニ依リマスルト、若シ普通ノ年柄デ十四年ガ推移致シマスルト、十五年ニ於キマシテ消費高ガ餘リ増加致シマセスモノト致シマス、一千五百萬石ノ十六年ヘノ持越分ト云フ風ニ御考ニナツテ居ルノデアリマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 増産致シマス數字ハ、既往十七箇年間ニ互リマシタ米穀ノ生産高ト消費高トノ數字ヲ一切調べマシテ、人口ノ増加竝ニ米穀ヲ食シマスル狀態ノ増加ト云フモノヲ一切勘定致シマシタ基礎生産高ト云フモノガアルノデアリマス、其ノ基準生産高ト云フモノヲ基礎ト致シマシテ、ソレニ内地ハ四百萬石増産スル、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマス、内地ノ本年ノ生産高ハ

六千五百八十六萬九千石デアリマスガ、是ハ平年度ノ勘定カラ申シマス、非常ニ増收ニナツテ居ルノデアリマス、即チ昨年度デハナク、本年度ニ更ニ増加シタ趨勢ニ依ッテ、昭和十五年度ノ基準ノ收穫高ト云フモノハ六千三百四十六萬五千石ト云フ數字ニナツテ居ルノデアリマシテ、ソレニ四百萬石ヲ増加スル計畫ヲ立テ、居ルノデアリマス、丁度本年カラ申シマス、百六十萬石内外ヲ増加致シマスレバ、四百萬石ノ増加ニナル、斯ウ云フ譯デアリマシテ、十四米穀年度即チ只今御讀上ニナツタ數字ヲ基礎ト致シテ居ルニ非ズシテ、一定ノ標準ト云フモノガアリマシテ、其ノ標準ヲ何時モ基準ト

致シマシテ計算致シテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ御承知ノ通り人口ガ非常ニ増加致シマスカラ、其ノ需要ニ伴ヒ、又事變下ニ於ケル需要ノコトモ考ヘ、サウシテ今申上ガマシタヤウナ計畫ヲ立テ、居ル譯デアリマス

○絲原武太郎君 只今ノ御答辯ニ依リマシテ了承致シマシテゴザイマスガ、サウ致シマス、今回ノ増産計畫ニ依リマシテ生産増加致シマス數量ト、人口増加ニ依リマス

ル消費量ノ増加ハ、約百萬石前後デアリヤウデアリマスガ、之ヲ差引キ致シマス、將來ニ於キマシテハ相當持越米數量ハ漸次増加スル御見込デ御計畫ニナツテ居ルノデゴザイマセウカ、或ハ人口増加其ノ他ノ必要ニ基キマスル消費ノ増加ト睨ミ合セテ御計畫ニナツテ居ルノデアリマセウカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 本年度ノ持越米ハ只今豫定ハ九百二十二萬石デアリマスガ、ソレヨリハ増加ヲシタ數字ヲ目標ト致シマシテ大體ノ見込ヲ立テ、居ルヤウナ譯デアリマス、尤モ最近ニ至リマシテ少シク事情ガ異ツテ參リマシタ、其ノ理由ハ今研究中デアリマスガ、此ノ位ハ消費スルデアラウト思ヒマシタ數字ガ減ツテ來ヤシナイカト云フコトヲ考ヘナケレバナラスコトガ一ツ起ッテ居リマス、併シナガラハ極メテ最近ノコトデアリマシテ、果シテ需要高ガサウ云フ風ニ減ルカドウカト云フコトニ付キマシテハマダ何トモ申上ガ兼ネマスケレドモ、現實ニ昨年ノ三月一日現在ト本年ノ三月一日現在ト比較ベマス、約百三十萬石程消費ガ減ツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ若シ左様ナ消費ガ減ツタコトガ其ノ儘繼續サレ

マスト云フト、本年度ノ繰越ハ或ハ九百萬石ガ更ニ大キナ數字ニ依ッテ繰越サレルノデハナイカト云フコトモ考ヘラレナイデハナイノデアリマスケレドモ、只今ノ所其ノ原因ニ付キマシテ明瞭ニ申上ゲルヤウナ風ニナッテ居リマセヌデゴザイマス、サウ云フ實情デアリマス、併シ此ノ事柄ハ……速記ヲ止メテ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ

○絲原武太郎君 大體拜承致シマシタガ、只今ノ御話ヲ承ッテ見マスルト、増産計畫ニ對シマスル今後政府ノ御執リニナリマス方針ハ、此處暫クノ間此ノ非常時局、長期ニ互リマス時局中ハ矢張り増産計畫ハ繼續シテ強化ナサル御考ト考ヘテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 大體ノ方針ト致シマシテハ、自然ニ増加スル反當リ收穫ノ増加ノコトモ考ヘマスシ、年々重工業ノ爲ニ潰レ地ガ出來マシテ、即チ耕作地ノ減少スル點モアリマス、從ヒマシテ耕作地ノ減少ニ對スル補充ト云フモノニ付キマシテハ、是ハ當然致サナケレバナラスコトト考ヘマスシ、更ニ此ノ人口ノ増加ニ對スル對策ト

シテ、年々増加致ス需要ニ對シテ、之ニ對應スルダケノ策ハ立テナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレデ實ハ御承知ノ通り昭和九年ニハ米ガ千六百萬石モ繰越サレテ、米價ハ暴落致シマシテ、農村ガ非常ニ窮乏ニ陥リマシタ結果、朝鮮ノ産米増殖計畫ト云フモノモ中止致シ、臺灣ノ水利改良事業モ中止致シテ、外地ニ於ケル所ノ米ノ増産ヲ止メタ時代モアルノデアリマスケレドモ、

今日ト致シマシテハ何ニ致セ、此ノ戰時中ハ農村ノ勞力ガ足りマセヌノデ、普通ニ放任致シテ置キマスレバ、之ガ減少致スコトハ自然ノ勢ダラウト思ッテ居リマスノデ、從ヒマシテ相當ナニ對スル對策ヲ立テルコトガ必要デ、今日増産計畫ヲ立テ、居ルヤウナ譯デアリマス、併シ能ク將來ノコトヲ考ヘテヤリマセヌト、此ノ出征兵士ガ歸ッテ來ラレタ場合ニ於テ米ガ暴落シテ困ル、即チ農村ニ歸ッテ農耕ニ從事シテ、其ノ收入ガ非常ニ激減スルト云フヤウナコトガアッデハナラヌノデアリマシテ、ソコノ按排ガ非常ニムツカシイノデアリマシテ、之ニ付キマシテ餘程注意ヲシテ案ヲ立テ、居ルノデアリマシテ、此ノ事變下ニ於キマシテハ、常ニ此ノ増産計畫ト云フモノニ付キマシテハ注意ヲシテ案ヲ立テナケレバナラスト思ッ

テ居リマス、尤モ本年中ニ決定スルカドウカ知レマセヌケレドモ、日滿支ヲ通ジタ米穀政策ト云フモノハドウシテモ確立シナケレバナラス問題デアリマスノデ、此ノ問題ガ決定致シマス、自然ト内地ノ米穀政策モ是ト睨ミ合ッテ行カナケレバナラストナルト考ヘマスガ、只今ノ所デハ内地外地ヲ通ジタ生産高ガ内地外地ノ消費高ヲ充シテ、サウシテ幾分タリトモ繰越ノ米ガ増加スル方針ヲ執ッテ行キマセヌケレバ、萬一ノ

天候其ノ他ノ爲ニ不作等ガアリマシテ、食糧ニ不足ヲ來スト云フガ如キコトガアッデハ相成ラスト考ヘマシテ、サウ云フ意味ニ於テ計畫ヲ立テ、居ル次第デアリマス
○絲原武太郎君 能ク了解致シマシタ、只今ノ御説明ニ依リマシテ想像致シマスルト、暫ク此ノ増産計畫ハ御遂行ナサラネバナラナイト云フヤウニ拜承致シマシタノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ、當局ニ於カレマシテハ全國ノ農村ヲ總動員セラレマシテ緻密ナル割當制度ニ依リマシテ増産ヲ圖ラレル計畫デアリマス、而シテ農村ノ現狀ハ此ノ非常時下ニ際シマシテ農業生産力ノ維持確保ヲ致シマスルガ爲ニ、深く縣市町村ノ當局ガ全力ヲ盡シマシテ、之ガ獎勵指導ニ總動員デ當ラレテ居リマス、又農民モ之

ニ應ジマシテ、地方ノ狀況ハ實ニ涙グマシイ活動ヲ致シテ居リマス、デアリマスケレドモ、如何ニセム農村ノ子弟ノ應召、股賑産業ヘノ轉出ハ漸ク勞働力ノ量ノ缺乏ヲ來ス事實ガ現レテ參リヤウニナリマスルシ、肥料、飼料ノ缺乏ニ加ヘマスルニ、價格ノ騰貴、生産用具ハ不足トナリマスルシ、馬匹ノ徵發、牛ノ供出等、又生産目的ニ打擊ヲ與フル結果トナッテ居リマスルガ、是ガ累積致シテ參リマスレバ、自然生産力ノ減退ハ餘儀ナクセラレマスルシ、是ト同時ニ他方跛行景氣ノ餘波ヲ受ケマシテ、消費致シマス物價ハ漸次騰貴ヲ來スコトニナリマシテ、農家ノ生活支出ハ從ッテ多額ヲ要スルコトニ相成ッテ居リマスルコトヲ考ヘマシテ見マスルト、此ノ將來ニ於ケル増産計畫即チ需給ノ推算ヲナサル、見當ハ頗ル窮屈ニナッテ參リマスルコトヲ豫想セラル、ノデアリマス、一方色々ナ方面カラ考ヘマシテ、只今御説明ノ一部ニアリマシタ通り、事變ノ長期化ハドウシテモ此ノ米穀ノ需要ハ人口増加ト共ニ一般ト増大セシメラル、ノデアリマスカラシテ、生産維持カラ一步進ンデドウシテモ生産増殖ノ段階ニ入ラネバナラスト云フコトハ、只今大臣ノ御説ノ通りト考ヘルノデアリマス、茲ニ於キマシテ生

産力ノ確保乃至増産ハドウシテモ生産物ノ
價格ヲ之ヲ保證セネバ行ハレ難イト信ズル
ノデアリマス、問題ハ比較的簡單ニ申シマ
スルト、ドウシテモ價格ハ生産ヲ支配スル
大キナ力ト私ハ申サネバナラスト思フノデ
アリマス、然ルニ戰時米穀政策ノ價格ヲ通
ジマシテ生産確保乃至増産ヲ行ハネバナラ
ナイト云フコトニ相成リマスルト、玆ニ相
當ナ無理ト困難ヲ來スモノデナイカト考ヘ
ルノデアリマス、況ヤ食料品ノ生産ノ一方
ニ於キマシテ割當ヲシテ生産増加ヲ強化致
サレムトシマスノニハ、一方ニハ當然價格
ニ付テモ國家的ニ價格政策ノ施設ヲ講ゼラ
ル、必要ガアルト思フノデアリマス、今先
ニモ申上ゲマシタ理由ニ基キマシテ、地方
ノ農村ニ於ケル勞働賃銀ノ狀況ヲ見マスル
ニ、時局前ニ比較致シマシテ五割乃至十割
ノ騰貴ヲ致シテ居リマス、又先ニ申上ゲマ
スル如ク肥料モ三割ノ騰貴ヲ來シ、其ノ他
ノ資料モ盡ク騰貴ヲ來シテ居リマスルカラ
シテ、生産費ハ否應ナシニ騰貴致シテ居リ
マス現狀ト見ネバナリマセヌ、デ、私ハ
此ノ食糧農産物ノ配給統制ニ關シマスル今
回御提出ニナリマシタ所ノ米穀株式會社法
案ト共ニ、ドウシテモ是ト併セテ價格ニ對
シマスル施設ヲ御考慮ニナリマセネバナラ

ナイト信ズルノデアリマス、私ハ米バカリ
デハアリマセヌ、農産物ノ價格ヲドウシテ
モ其ノ時々ニ應ジマシテ適正ニ之ヲ運用セ
ラレマスコトハ、獨リ農山漁村民ノ生活ノ
安定ヲ保證スルノミニアリマセズシテ、此
ノ時局ニ對シマシテ前途ヲ杞憂セラレマス
ル生産ノ確保、増進ヲ圖ルノデアリマスルカ
ラシテ、此ノ價格ニ對シマスル適正ノ統制強化ハ
ドウシテモ此ノ配給ト共ニ是ハ研究セネバ
ナラナイコトト考ヘルノデアリマス、米穀ハ米
穀統制法ニ依リマシテ公定價格ガ已ニ御發
表ニナツテ居リマスルカラシテ、是ハ其ノ支
配ヲ受ケテ居リマスガ、此處デ伺ヒタイト
思ヒマスルコトハ、現下ノ只今申上ゲマシ
タヤウナ農村狀態ト經濟狀態ニ併セマシテ、
此ノ際公定價格ノ再檢討ヲ爲サル必要ガア
ラウト考ヘマスガ、此ノ點ニ付キマシテ當
局ハ如何ナル對策ト理想ヲ有セラレテ居リ
マスルカラ伺ッテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 増産計畫ヲ爲ス
ニ當ッテハ、價格政策ガ伴ハナケレバ、増産
ガ出來ナイノデハナイカト云フ御意見ハ、
經濟上ドウシテモサウ云フ風ニナルヤウニ
考ヘマス、而シテ現實ノ問題トシテ勞銀ハ
五割乃至十割上ツタ「肥料モ亦三割乃至ソレ
以上四割上ツタ、從ッテ米穀等ノ生産費ガ非
常ニ暴騰シ生産ノ原價ト云フモノハ非常ニ
騰貴ヲ致シテ居ル、此ノ時代ニ於テ圓滿ニ
米穀ノ配給ヲ行フニハドウシテモ生産ヲ確
保シナケレバナラスガ、生産ヲ確保スルノニ
ハ、此ノ價格ノ問題ニ對シマシテドウ考ヘ
テ居ルカ、延イテ現在ノ最高、最低價格ヲ
再檢討スル意思ガアルカナイカ、斯ウ云フ
御話ノヤウニ承ツタノデアリマス、御承知ノ
通りドウシテモ現在ノ日本ノ經濟事情カラ
照シテ見マスルト、此ノ事變ニ對應致シマ
スニハ、物價ノ暴騰ト云フコトハ何トシテ
モ之ヲ抑制ヲシナケレバ、經濟界ガ混亂ニ
陥ル虞ガ多分ニアルノデアリマス、即チ惡
性「インフレ」ト申シマスルカ、サウ云フコ
トガアリマス、實ニ容易ナラザルコトデ
アリマスガ故ニ、出來得ル限り物價ノ騰貴
ヲ抑制スルト云フコトハ致サナケレバナラ
スノデアリマシテ、政府ハ民間ノ御協力ヲ
願ッテ此ノ低物價政策ト云フモノヲ終始努力
致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、從ヒマシ
テ生産費ノ價格ヲ上ゲルト云フコトヨリモ、
生産ノ基本トナルベキ事柄、基幹トナルベ
キコトニ付キマシテ、安クナルヤウニシナ
ケレバナラナイ、即チ言葉ヲ換ヘテ申セバ、
肥料ヲ値下ゲシナケレバナラス、勞銀モ下
ゲナケレバナラス、農具資材ノ騰貴シタモ

ノモ防ガナケレバナラナイ、斯ウ云フ風ナ
建前デ始終進シテ參ッテ居ルノデアリマシ
テ、此ノ戰前ノ總テノ物價ヲ戰前ヲ目標ト
シテ相成ルベク維持シタイト云フ方針デ參ッ
テ居リマスケレドモ、時局ノ關係、事變ノ
關係カラ致シマシテ、或物ハ非常ニ騰貴シ、
或物ハ騰貴シテ居ナイト、斯ウ云フ風ナ經
濟事情ニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ
點ニ付キマシテ今物價委員會等ニ於テハ
可ナリ苦心ヲシテ、之ニ對シテ考慮ヲ拂ッ
テ居リマス、農林當局ト致シマシテモ肥
料ノ値上リヲ防ギ、農具ノ値上リヲ防グコ
トニ付キマシテ銳意考究致シテ居ルヤウ
ナ譯デアリマス、ソレデ現在ノ米穀ノ最
高最低ハ御承知ノ通り昨年ノ十二月ニ
決定サレタノデアリマス、即チ御承知ノ通
リ此ノ最高最低ヲ定メマスノハ、一定ノ基
準ガアリマシテ、其ノ基準ヲ基礎トシテ其
ノ範圍内ニ於テ農林大臣ガ經濟事情ヲ參酌
シテ決定スルコトニ相成ッテ居リマシテ、
米穀統制委員會ニ於テソレノノ權威ノ方
ガ十分研究ノ上決定サレタ現在ノ最高最
低デアリマシテ、ソレデ本年ハ其ノ標準ニ
從ッテ賣買サルベキ順序ニナツテ居リマスガ、
現在ハ殆下最高ノ方ニ近附イテ居リマス、
統制法ノ決定シタ標準カラ申スト云フト、

モウ最高ニ食附イテ居ルト言ッテモ宜イ程ノ値ニナッテ居リマス、マダ一圓何十錢カノ差ハアリマスケレドモ、大體ニ於テ最高ノ方ニナッテ居リマス、其ノ決定致シマスノハ、要スルニ生産ノ實費ト物價參酌値ト云フモノト見合ヒマシテ、最高ノ價格ハ物價參酌値ノ上値三割ニ相當スル價格ト上値二割ニ相當スル價格トノ間ニ於テ、農林大臣ガ經濟事情ヲ參酌シテ決定シタル價格ト家計米價トノ範圍内ニ於テ、農林大臣ガ定メテ居ルノデアリマス、最低物價ノ方ハ物價參酌値ノ下値一割ニ相當スル價格ト下値二割ニ相當スル價格トノ間ニ於テ、農林大臣ガ經濟事情ヲ參酌シテ決定シタル價格ト米穀生産費、運賃諸掛等ヲ加ヘタ價格トノ範圍内ニ於テ、農林大臣ガ決定スルコトニナッテ居ルノデアリマス、此ノ方法ニ依ッテ決定致シタルデアリマシテ、現在ノ米價ガドウシテモ農家ニ於テ生産上ヤリ切レスト云フヤウナ場合ニナリマスレバ、是ハ又別ニ規定ガアリマシテ、即チ物價ニ著シキ變動アリタル場合、又米穀ノ需給ニ著シキ變動アリタル場合ハ、是ハ更ニ變更シ得ルコトトナッテ居リマス、併シ只今ノ所此ノ物價ノ著シキ變動アリタル場合ヲ適用シテ之ヲ再檢討致スト云フ風ヲ所迄ハ立到ッテ居ナイト

考ヘマシテ、其ノ儘ニナッテ居ルノデアリマスルガ、斯ウ云フヤウナ事態ガ起リマスレバ、直チニ統制委員會ヲ開イテ檢討ヲ致スコトハ勿論デアリマス

○絲原武太郎君 只今ノ御答辯ヲ拜承致シマシテ、要約致シマス、最後ノ御言葉中ニ若シ經濟事情ガ尙是以上ニ米穀公定價格ノ改訂ヲ見ル必要ガアレバ、其ノ際ニハ十分考慮ヲ致サウト、斯様ニ解釋致シマシタカラ、私ハ此ノ價格問題ニ付キマシテハ、是デ一應御問ヲ止メテ置キマスデゴザイマス、次ニ伺ッテ見タイト思ヒマスコトハ、ドウシテモ御承知ノ通り、米穀ノ生産高ニ依リマシテハ内地ノ人口ノ食糧ハ賄ヒ切レナイ、從ッテ相當數量ノ外地米ノ移入ヲ見ツ、アルコトハ、コ、十數年間ノ例ニ依ッテ明カデアリマス、從ッテ米穀ノ配給統制ハ獨リ内地ノミノ統制ニ依ッテハ是等ノ圓滑ナル運用ガ致シ兼ねルコトニ相成リマスルカラシテ、今回臺灣米ノ移出管理ノ實施トナリ、更ニ參考書デ拜見シマス、朝鮮ニ於テモ朝鮮米穀市場會社ト云フヤウナ會社ヲ設ケラレルコトトナリマシテ、所謂内地外地ヲ通ジマシタル一貫シマシタル所ノ米穀配給統制ヲセラレル、即チ一應統一シタル制度ノ下ニ置カレルコトニ相成リマシタコト

ハ、當然起ルベキ事柄ト考ヘルノデゴザイマス、唯之ニ付キマシテ伺ッテ置キタイト思ヒマスコトハ、現在ノ内地米ノ價格ハ内地ノ需給其ノ他ノ事情デ支配セラレテ居リマスノミデハアリマセス、外地米ノ價格外地米ノ移入數量ニ依ッテ内地米ノ價格ガ殆ド左右セラレテ居ルト申シテモ差支ナイト思ヒマス、是ハ申ス迄モゴザイマセス、外地ニ於キマシテ生産致シマスル米穀ノ生産費ガ内地ニ比較致シマシテ、何レノ點カラ考ヘマシテモ生産費ガ安價デアリマス、此ノ爲ニ相當ナ運賃、若シクハ諸掛ヲ之ニ加ヘマシテモ、ドウシテモ内地ニ移入シマシタ時ニ内地米ヨリカ安價ニ相成ッテ参リマスルガ爲ニ、先ニ申上ゲマシタヤウナ事情ニ相成ッテ居ルノデアリマス、デ、私ハ朝鮮米穀市場會社ト云フモノハ一讀シマシタルミデゴザイマシテ、十分詳シク説明モ伺ッテ居リマセスケレドモ、ドウモ朝鮮米ノ内地移入ノ取引ハマダ相當ニ自由ガ多クナッテ居ルヤウニ思ハレルノデゴザイマス、茲ニ於キマシテ朝鮮米ノ產地ノ價格ト移出量ニハ十分ナル茲ニ嚴重ナ監督ヲ強化セラレマセネバ、内地地ヲ通ジマシテ一元の價格配給ノ統制ニ副ハヌヤウナ虞ガアルト思フノデアリマス、仍テ此ノ朝鮮米ノ移出施行ニ對シ

マシテ、農林當局ニ於カレマシテハ外地ノ當局ト如何様ナル御協議ニ相成ッテ居リマセウカ、少クトモ米穀ハ、出來得レバ、私ハ極メテ國民生活ノ最モ重大ナル必需食糧品デアリマスガ故ニ、農林當局ニ於カレマシテドウシテモ一元シマシタル所ノ行政機構ニ置カレル必要ガアルデハナイカト思フノデアリマス、其ノ點モ併セテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 内地外地ヲ一元のニ米穀政策ヲ確立致シマスコトハ、先刻來申上ゲタ通りデアリマス、臺灣ノ方ハ只今御審議ヲ願ッテ居リマス所ノ特別會計ト云フモノガ出來テ、臺灣移出米ノ管理ヲ致スト云フコトニナリマスルト、内地ニ對スル移出ノ米穀ハ總テ農林省ニ委託シテ、此ノ會社ヲ經テ賣捌クト云フコトト相成リマスルト思ヒマスルカラ、此ノ邊ハ全ク御趣旨ニ副フコトト考ヘマス、朝鮮モ此ノ米穀會社ト相對應シテ朝鮮ニ米穀市場株式會社ト云フモノヲ拵ヘテ、是ト殆ド同ジャウナ建前ニ於テ朝鮮ノ米穀ヲ統制シヨウ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、其ノ價格モ内地ノ決定サレタル價格ガ基準トナッテ、其ノ價格ト相見合ッテ朝鮮總督ニ於テ一定ノ價格ヲ指定サレテ、其ノ指定サレタ價格内ニ

於テ取引ヲスルト云フコトニ相成ルヤウニ
承知シテ居リマス、サウシテ其ノ内地ニ對
スル移出ノ關係、此ノ價格ノ關係、ソレ等
總テノ事柄ハ能ク朝鮮總督府ト農林省ト密
接ナル關係ヲ取リマシテ、其ノ點ニ付テ内
地ノ生産者、消費者ニ不安ノ念ヲ與ヘザル
ヤウ、又不安ノナキヤウ配給致シタイ、斯
様ニ考ヘテ、今協議ヲ進メテ居ル譯デアリ
マスガ、大體ノ方針ハ全ク一元的ニ處理シ
テ行キタイ、斯ウ云フコトニ決シテ居ルノ
デアリマシテ、今其ノ細目ニ付キマシテ協
議シテ居リマスガ、必ズ豫定通り決定ス
ルコトト考ヘテ居ルデアリマス

○絲原武太郎君 長クナリマスカラ、一應
私ハ是デ……他ノ機會ニ質問致シタイ

○瀧川儀作君 本案ハ前ニ國策トシテ決定
サレマシタ米穀政策ニ對スル實行方法トモ
見ルベキモノト考ヘマスカラ、今更異論ハ
ナイモノノヤウニ思ヒマス、無論私ハ原案
ニ賛成スルモノデアリマス、茲ニ一ツ伺ッテ
見タイノハ、米穀取引所ハ大阪、東京ヲ初
メ或ハ兵庫、岡山、馬關ト云フヤウナ、數
百年ノ歴史ヲ持ッテ、明治以後ニ於キマシテ
ハ國法ノ下ニ經營シ來ッタノデアリマスガ、
米穀政策ガ議會ニ於テ決定サレマシタ當時、
此ノ米穀取引所ガ職業ヲ失フ、斯ウ云フ所

カラ其ノ當時非常ニ喧々囂々大分ムツカシ
イ問題デアッタノデアリマス、時ノ政府ガ十
分此ノ事情ヲ諒トサレマシテ、非公式デアッ
タカモ知レマセヌガ、五千萬圓以上ノ會社
ヲ造リマシテ、其ノ中少クモ二千萬圓程度
ノモノハ營業權トシテ認メナケレバナラス、
其ノ當時ノ取引所ハ約二十箇所バカリアッ
タト思ヒマス、サウシテ其ノ收入ガ約百萬
圓内外ニ達シテ居ッタノデアリマス、之ニ對
シテ國策ニ順應シテ對應セネバナラスト云
フコトニナリ、從業者モ相當多數ニ上ッテ
居ルノデアリマスカラ、ソレ位ノ程度ノ營
業權ヲ認メルト云フコトハ當然デアルト云
フコトノ輿論ニナッテ居リマシタ、爾來歷代
ノ内閣モソレヲ認メテ參ッタノデアリマス
ガ、サウ云フ米穀ノ政策ガ定マリマシタ以
來、米ノ取引所ハ漸次衰微致シマシテ、立ッ
テ行ケナイヤウナ狀態ニナッタノデアリマ
ス、前内閣ニ於カレマシテハ其ノ趣意ヲ體
シテ相當營業權ヲ認メタ米穀會社ナルモノ
ヲ提案セムトセラレタヤウニモ承知シテ居
ルノデアリマスガ、現内閣ニ至リマシテ、
一切營業權ヲ御認ニナラナイ、私共ハ多少
關係ガアリマスノデ、農林大臣閣下ニモ御
目ニ掛リマシテ、大臣閣下ハ頗ル實業界ノ
事情ニ御通曉セラレテ居リマシテ、當業者

ノ立場ニ餘程御同情下スッテ居レルノデ
アリマスガ、全然營業權ヲ撤廢サレテ、ソ
レニ代ルモノガナイ、斯ウ云フコトハ頗ル
戰時態勢下ニアル現狀、國費多端ノ時デア
リマスカラ、御無理モナイヤウニモ存ゼラ
レルノデアリマスガ、由來取引所ナルモノ
ハ兎角世ノ誤解ヲ受ケ易イ事業デアリマス
爲ニ、遠慮ヲ致シテ居ルノデアリマスケレ
ドモ、今日ノヤウニ統制經濟ノヤカマシク
ナイ時代、國運ガ漸次發展シツ、アル所謂
自由經濟組織トデモ申シマスカ、其ノ時ニ
商工業モ發達シナケレバナラス、國際貿易
モ發達シナケレバナラス、サウ云フ時ニ取
引所ガ中心トナッテ公定相場ヲ定メテ、其ノ
定メタ商品ニハ日本ト云ハズ、世界中ノ銀
行ハ安心シテ金融ヲ與ヘル、其ノ與ヘラレ
マス金融機關ノ所謂根本ニナッテ居リマス
爲ニ、其處ニ有ラユル商品ガ集ッテ來テ、
「ストック」ガ集ッテ來テ、生産工業ノ爲ニ資
金ヲ十分ニ調整シテ行クト云ッタヤウナ役
目ヲ果シテ居リマス、特ニ又取引所ヲ世間
ハ少シ誤解ヲシテ居ルヤウデアリマスガ、
取引所ノ事業ハ、取引員、仲買人ト稱スル
者ノ所謂公定相場ヲ定メル媒介ノ、所謂弊
害ノ方カラ言フト、相場師ヲ取締ル役目ヲ
シテ居リマス、斯カル大切ナ役目ヲヤリ

マシテ、サウシテ今日迄來ツタ事業デアリ
マスカラ、相當國家社會ニモ財界ニモ努メ
テ、功績ノアル仕事デアアルノデアリマス
カ、前内閣又前々内閣ハ、此ノ問題ガ起ッ
タ以外、營業權ト云フモノヲ相當認メテ居ッ
タニモ拘ラズ、如何ニ戰時態勢下ニアルト云
ヒマシテモ、餘リ取扱ガ無情デナイカト云
フヤウナ感じモ致シマスノデアリマス、ソ
コデ色々大臣ニ御目ニ掛ッテ伺ッタコトモア
ルノデアリマスガ、餘程事情ヲ御察シ下サ
イマスガ實ハ此ノ會社ニ買收スル時デアリ
マストカ、其ノ他ニ付テハ出來得ル限り考
慮ヲシテヤラウト云フコトデアリマシタガ
當業者ハ至ッテ微力ト言ヒマスカ、其ノ誤解
ヲ受ケ易イ仕事デアリマスカラ、御遠慮ヲ
申上ゲテ居ルノデハナイカト思ヒマスノデ
アリマスガ、ドウモモウ少シハッキリドレ
位ノ商業權ヲ撤廢シ、殊ニ歷代内閣ニ於テ先
ヅ御諒解ニナッテ居ッタモノヲ、今更國策ノ爲
トハ言ヒナガラ、先ヅ犧牲ニナッタト云フ境
遇ニアルノデアリマスカラ、今少シソレニ
代ル補助其ノ他ノ代案ニ付テ當業者ガ安心
スルヤウナ御説明ヲ願ヒマス、大變結構
ダト思フノデアリマス、是ハ幾度モ申上ゲ
マス通り、世ノ誤解ヲ受ケ易イ事業ニ從事
シテ居リマス爲ニ、オトナシクシテ居リマ

スケレドモ、先づ政府が數百年來經營シタ事業ニ對シテ相當ノ補償ヲ與ヘテヤラウ、營業權ヲ認メテヤラウト云フコトニ安心シテ、國策ニ順應シテ今日迄來タモノガ、數年後ニ於テ……内閣ハ度々迭リマシテ、當局大臣個人トシテハ御責任ハアリマセヌガ、營業者トシテハ政府ヲ頼リニ來テ居ルノデアリマスカラ、到頭終ヒニ斯ウ云フ目ニ遭ハサレタト云フコトニナリマス、取引所デアリマスレバ宜シイガ、總テノ商工業ガ斯ウ云フ風ナコトニナリマス、安シジテ事業ヲ勵ム者ガナイデアラウ、殊ニ私ハ今日ノヤウニ統制バヤリノ時ニハ致方アリマセヌガ、斯クノ如ク半官半民ノ會社ガ澤山出來マシテ、少數ノ手デ總テノ仕事ヲヤツテ行クト云フコトニナリマス、ジツトシテ居テ儲テ行クノデアリマスカラ、モウ奮發心ガナクナツテ、商工業ハ萎微スル、國運ハ衰亡ニ傾クノデナイカト思フ程ニ餘リ統制ヲ強化スルコトニ付テハ心配シテ居ル一人デアリマスガ、更ニ斯ウ云フ風ナ運命ニナリ來リマス、安心シテ商賣ヲ勵ム者ガナクナルト云フコトモアリマスカラ、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、今少シ奮發シテ戴キマシテ、厚顔シク申上レバ、隨分國費多端ノ時デアリマスガ、統制經濟ヲ

オヤリニナツテ居ル時デアリマスカラ、二十四箇所ノ取引所、數百年ノ歴史ヲ持ツテ居ル取引所ニ三百萬ヤ五百萬ノ營業權ヲ御拂ヒニナツテモ、ソレ程堪ヘル……モット反對ノ結果ヲ見タ時ニハ惡イ結果ヲ來スノデアリハシナイカト云フコトヲ虞レルノデアリマスガ、餘リ具體的ノコトヲ伺フ必要ハナイノデアリマススケレドモ、モット安心スルダケノ、是ハ斯ウナツテ居ルノダ、今回ニ於キマシテモ六朱ノ配當ノ株ヲ貰フノデアルカラ宜イノデナイカト云フコトデアリマスガ、之ガ保證モ何モ附イテ居リマセヌ、政府ノ出資スルモノハ六朱ノ配當ノアル迄ハ政府ノ方ノ側ハ遠慮シテ行カウト云フコトモアリマシタ、是ハ保護ノ一ツデアリマスケレドモ、配當保證ト云フコトデハナイノデアリマス、又ソレガウマク行カナイカモ分ラナイ、必ズシモ半官半民ノ事業ガウマク行ツテモ、保證ガ出來ナイノデアリマスカラ、是モマア頼リナイコトデアリマス、又其ノ株ヲ持チ得ル人デアルシ、持チ得ナイ者モアラウ、サウ云フ方面ニ對シテハ或ハ利用價值ヲ認メテ何トカスルト云フ御話モアツタノデアリマスガ、是モ具體的ノ案ガ發表サレテ居リマセヌカラ、隨分不安ニ感じテ居ルヤウナ狀態ナノデアリマス、唯財界

ノ事情ニ通曉セラレテ居ラレマス大臣閣下ノ親切ナ御説明ニ信賴シテ居ルト云フノミデ、甚ダ不安ヲ感じテ居ルト云フ者モアリマス、此ノ點ヲ今少シク明瞭ニドウナルノダト云フコトヲ御説明ヲ得マス、仕合セニ存ジマスノデアリマス

○内田重成君　チヨット瀧川委員ノ御問ニ關聯シテ居リマスカラ、同時ニ御答ヲ得タ方ガ便宜カト思ヒマス、只今瀧川委員ヨリ御尋ニナリマシタコトニ付キマシテ直接關聯致スコトデアリマスノデ、御伺ヲ致スノデアリマス、勿論此ノ米穀統制法制定以來ノ、只今瀧川委員ノ述ベラレマシタ取引所竝ニ取引員ノ救済ニ付テハ長イ間問題ニナツテ居リマシテ、其ノ經過ハ申上グル迄モナク御承知ノ通りデアリマスルガ、殊ニ十一年五月ニ米穀自治管理法案ガ本院ニ於テ議セラレマスル際ニ、其ノ決議ノ時ニ、附帶決議トシテ決議致シマシタ事項ノ中ニ、三トシテ「政府ハ米穀統制實施ニ依リ米穀ノ取引及配給ノ機關ニ及ボス影響ニ關シ適當ナル對策ヲ講ズベシ」ト云フ附帶決議ヲ附シタノデアリマス、當時本員モ其ノ決議案作成ノ小委員ノ一人デアリマシタノデ、其ノ經過ハ能ク承知ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ附帶決議ノ起リマシタ理由ハ、米

穀統制法ニ依ツテ取引所竝ニ取引員ノ蒙ル打撃ニ對シテ、國家トシテハ相當之ニ救済ヲ與ヘナケレバナラスト云フ趣旨デ、此ノ附帶決議ガ出來タノデアリマス、尤モ當時其ノ文句ノ上ニハ、明カニ取引所ト云フ「所」ト云フ文字ハ加ヘナカッタノデアリマススケレドモ、是等ノ文字ヲ加ヘズトモ、大體廣イ文句ノ中ニ之ヲ書加ヘテ置イテ分ルコトデアルト云フコトニ當時私共ハ考ヘタノデアリマス、ソレカラ昭和十一年ノ五月ニ、矢張り米穀自治管理法案ニ付テ、衆議院ノ附帶決議ハ矢張り同様ノ意味ノ決議ガアリマシテ、之ニハ「本法ノ實施ニ際シテハ米穀取引所竝ニ米穀業者ニ重大ナル影響ヲ與ヘザルヤウ特ニ注意シ、損害アリタル場合ニハ適當ナル對策ヲ講ズベシ」ト云フ決議ガ附セラレテ居ルノデアリマス、其ノ以後ニ於キマスル農林省ニ設ケラレマシタ配給機構調査會等ニ現レマシタ原案ノ中ニハ、米穀取引所及ビ取引員ニ對スル賠償規定等ガ相當アツタヤウデアリマシテ、從來一般ニ此ノ取引所竝ニ取引員ニ對シテ國家ハ相當ノ救済補償ヲセラル、モノト云フ期待ヲ持ツテ居ッタノデアリマス、是ハ一般ニ左様ニ思ツテ居ッタト云フコトハ顯著ナ事實デアラウト思フ、之ヲ單純ナ理論カラ申シマシテ、斯ウ云フ

統制法ノ如キ一般ノ法律ノ施行ニ依ッテ受クル國民ノ一部ノ打撃ガ、直チニ補償規定ヲ設クベキモノデアルカ否ヤト云フコトニ付テハ議論ノ餘地モアラウト思フノデアリマスガ、本法ノ如ク、取引所ノ機能ヲ法律ニ依ッテ全然廢止スル、即チ取引所ニ與ヘタ營業權ヲ將來ニ向ッテ消滅セシムル、私ハ敢テ營業權ト申シマスルノハ、政府ガ兎ニ角許可ヲ與ヘ、免許ヲ與ヘテ此ノ取引所業務ヲ許シテ、サウシテ米穀取引行爲ヲサセタ以上ハ、是ハ一ツノ權利ト見テ宜イト思フ、一種ノ既得權デアルト思フ、デ單純ナル恩惠デハナイ、ソレデ立憲治下ニ於テ既ニ權ト認メラレテ、單純ノ恩惠ニ非ザルモノト云フコトニ之ヲ認ムルコトガ出來ルナラバ、其ノ剝奪ニ對シテハ國家トシテハ相當ニ補償ヲシテアルト云フコトハ、國民生活ノ不安ヲ除イテアルト云フ上ニ付テ、正義公平ノ見地カラ見テモ當然ノ措置デアルト思フ、其ノ趣旨ハ產業法規ニ於テ屢、見得ルノデアアル、ソレニ付テ顯著ナ實例ノ法規ヲ舉ゲマスレバ、地方鐵道法デアルトカ、ソレカラ屠場法、煙草專賣法、河川法、傳染病豫防法、土地收用法、徵發令ト云フガ如キモノハ、最モ之ガ顯著ナモノデアリマスガ、極メテ此ノ場合ニ類似シテ居ル法規

ト致シマシテハ、地方鐵道法及ビ自動車道路法ト云フガ如キ法規ノ上ニ、本案ノ米穀取引所等ニ對スル關係ト同一ノ場合ニ國家ガ之ヲ補償スルコト云フ規定ガ明瞭ニ現レテ居ルノデアリマス、寧ロ只今舉ゲマシタ法規等ニアリマスル場合ハ、是ハ一ツノ匡救法デアルノデアリマス、必ズシモ國家トシテ賠償ヲシナケレバナラヌ、補償ヲシナケレバナラヌト云フ迄ノ強イ理論ガ立タヌニ拘ラズ、尙且國家トシテハ國民ノ生活ノ脅威ヲ補償スルコト云フ意味デ、補償規定ヲ置イテアル、是コソ一種ノ國家ノ恩惠デアリマスルケレドモ、只今述ベマスル此ノ取引所ノ關係ハ寧ロ是ヨリ強キ意味ニ於テノ國家ノ補償ヲナスベキ場合ニ居ルモノト思ハルノデアアル、是ハ法律デアルコトデアルカラ、如何ニ國民ノ權利、既得權デモ、是ハ取上ゲテ宜シイト云フコトハ是迄ノ立法例カラ考ヘテ、又正義公平ノ見地カラ考ヘテ適當デナイト云フコトニ考ヘラルルデヤナイカト思フノデアリマス、デ、近頃ノ統制經濟ノ關係上、犧牲產業ノ各方面ニ對シテ國家ガ賠償スルコトカ、補償スルコト云フコトハ到底國家經濟ノ許スベカラザルモノデアルカラ、是ハ國民ニ於テ忍バナケレバナラヌト云フ議論ガアリマスルケレドモ、私

ハソレト是トハ違ヒガアルト思ッテ居ル、統制經濟ノ如キモノデ一般ニ受クル所ノ損害何人ト云フ特定人デナイ、又特定ニ特殊ノ權利ヲ與ヘラレタ者デナイ者ノ受クル一般ノ損害ハ、是ハ甘受スルコトヲ忍バナケレバナラヌ、是ハ國家ノ前ニ如何ナル苦痛デモ國民ハ忍バナケレバナラヌコトデアルケレドモ、本件ノ如キ特殊ナル權利ヲ特定ノ人間ガ與ヘラレテ居ッテ、其ノ權利ノ剝奪ヲ直接ニサレタ場合ニハ、是ハ法文的ニ、法文ノ上ニ明カニ其ノ補償規定ヲ置クベキデアルンデヤナイカト云フコトヲ思フ、是ハ將來ニ於テ總テ權利ニ對スル國家ノ保護ノ上ニ於ケル最モ重大ナ一ツノ例ヲ爲スモノデヤラウト思フ、此ノ點ニ付テ相當政府ニ於テ今日ノ案ガ御確定ニ相成ル迄ニ經緯ノアリマシタコトハ、新聞紙上ニ於テ私ハ是ハ承知モ致シタノデアリマスルケレドモ、定メテ只今ノ法理論ニ付テモ是ハ補償規定ヲ置カナクテモ、一般ノ是迄ノ產業法規ノ例トハ違ッテ、斯様ナ產業法規ニアリマス先程申上ゲタヤウナ各種ノ法律ノ規定ト違ヘテ規定ヲシテモ、一向差支ナイモノデアルト云フ迄ノ御研究ノアツタコト考ヘル、始終現政府ニ於テモ聲明セラレマスル通り、國民ヲシテ不安ナカラシメ、各、其ノ分ニ安

ンジテ其ノ職ニ努メシムルコトガ、治世ノ肝要デアルト云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマスルガ、斯ノ如クシテ折角得タル權利ヲ、未ダ期限ノ範圍ニアル者ニ對シテモ、他ノ必要理由カラシテ何等ノ補償ヲセズ、唯僅カニ慰メノ方法ニ依ッテ法律的ニ其ノ仕事ヲ取上ゲルト云フコトニナリマシテハ、私ハ國民ノ不安ヲ招ク原因トナルンデヤナイカト云フコトヲ虞レルノデアリマス、瀧川氏ニ對シマル御説明ニ關聯致シマシテ、私ノ只今伺ヒマシタ點ニ付テモ併セテ御説明ヲ承リタイト考ヘマス

○國務大臣(櫻內幸雄君) 取引所ガマダ免許期間中デアアルニ拘ラズ、之ヲ廢止セシメ、之ニ對スル所ノ賠償ヲ爲サスト云フノハドウモ適當デハナイノデハナイカト云フヤウナ御議論ノヤウニ拜聽致シタノデアリマス、御承知ノ如ク本法ハ、從來ノ清算取引ヲ中心トシテ價格ヲ定メルト云フ事柄ハ、ドウモ其ノ當ヲ得テナイ、即チ米ノ實需ヲ、實際ノ正米ノ實物ニ對スル實需ヲ中心トシテ公平適正ナル價格ヲ定メナケレバナラヌト、斯ウ云フ事柄ヲ決定致シマシタ結果ハ、御承知ノ如ク取引所ガ現在大部分此ノ清算取引ト云フモノニ依ッテ收入ヲ舉ゲテ居ルノデアリマスカラ、到底成立チ得ナイ關係ニ

アルノデアリマシテ、即チ本法施行ノ結果
之ヲ廢止スルノガ適當ナル、斯ウ云フ譯
デ廢止シタ譯デアリマス、即チ要旨ハ、適正
ナル價格ヲ拵ヘル爲ニ、主トシテ投機取
引ヲ以テ清算取引ヲヤツテ居タ事柄ヲ廢
止シテシマハフ、サウ云フ見地カラ今回ノ
米穀市場ガ設ケラレルノデアリマシテ、其
ノ結果從來ノ取引所ハ到底ヤツテ行ケナイ
ノデ、之ヲ一元的ニ統制スルコトガ必要ナ
リト云フ見地カラ、從來ノ取引所ヲ廢止ス
ルト云フコトヲ決メタ譯デアリマス、ソレ
デ歴史のニ申シマス、御話ノ如ク此ノ米
穀取引所ヲ廢止スルニ付テハ相當ナル賠償
金ヲ支拂フベシト云フ議論ノアッタコトモ
承知致シテ居リマス、又只今御讀ミニナリ
マシタ附帶決議ノアッタコトモ承知シテ居
ルノデアリマスガ、併シ果シテ賠償金ヲ出
スト云フコトガ斯ウ云フ場合ニ於テ適當デ
アルカ否カト云フコトニ付キマシテハ、多
少議論ノ餘地ガアルト考ヘマス、又許可致
シマス場合ニ於テモ、場合ニ依テハ取消シ
得ルト云フヤウナ規定モ附イテ居ル譯デア
リマシテ、絶對的ノ權利ト云フ譯デモアリ
マセヌノミナラズ、モウ殘レル期間モ僅カ
ニ四五年位ガ多クテ、場合ニ依ッテハ繼續
シテ許可シテモ、自然解消スルト云フヤウ

ナ状態ニ今日ハナツテ居ルノデアリマス、
ソレデ何故賠償ノ案ヲ採ラナカッタカト、斯
ウ云フ御話デアリマスガ、實ハ今瀧川サン
デスカ、御話ノ如ク一時ハ相當ノ金額ノ賠
償ヲ出シテ、サウシテ之ヲ片附ケルト云フ
ヤウナ話モアッタノデスカ、最終ニナリマシ
テハ、其ノ措置ニ關シテ極メテ少額ノ金額
ヲ出シテ措置ヲシヨウト云フヤウナ案
ニナツテ居リマスケレドモ、ソレニ付キマシ
テモ政府部内ニ於テ今日ノ際ニ於テ賠償ス
ベキモノデヤナイ、即チ統制法ノ發動ニ依ッ
テ鉄鐵ノ配給ガ出來ナイ、其ノ結果ハ直チ
ニ問屋ガ潰レタ、或ハ革ノ配給ガ止メラレ
タ、是ガ爲ニ革ノ業者ガ潰レタ、綿絲ノ配
給ガ止メラレテ、綿絲業者ガ潰レタ、斯ウ
云フ風ナ場合デアリマシテ、之ニ對シテ一々
政府ハ賠償ハ致シテ居ラナイノデアリマ
シテ、若シ賠償ヲ致ストスレバ、之ヲ一括
シテ考フベキ筋合デアアル、即チ適正ナ米
價ノ公定ヲ期スル爲ニ清算取引ヲ止メルト
云フ建前カラ起ツテ居ルトスレバ、即チ救
濟問題ハ別個ノ問題ニ考フベキ筋合デアアル、
斯ウ云フ風ナ議論モアッタノデアリマスガ、
併シナガラ茲ニ從來ノ取引所ト稍、似タ日本
米穀株式會社ガ出來ル以上ハ、從來ノ取引
所ノ權益ト云フモノハ十分尊重シナケレバ

ナラナイ、此ノ見地カラ致シマシテ、申
サバ從來ノ米穀取引所ノ人々ガ合併シタト
同ジ形式ニナルヤウニ、優先的ニ株式ノ申
込權ヲ賦與スル、併シ此ノ會社ガ儲カラヌ
ト思ッテ、嫌ナ方ハ其ノ財産ヲ賣ラレタ金額
ヲ金デ分配サレ、バ宜シ、又此ノ會社ガ有
益デアッテ、確實デアアル、斯ウ御覽ニナレバ、
此ノ會社ノ株主ニナラレ、バ宜シ、丁度
民間ニ於ケル會社ノ合併ト同ジヤウナ形式
ニシテ、サウシテ株主ノ權益ト云フモノヲ
擁護シタラドウデアラウカ、斯ウ云フコト
ヲ考ヘタノデアリマス、然ラバ此ノ會社ガ
左程有利デアアルカ、從來ノ會社ガ不利デア
ルカト云フコトノ研究問題ニナリマスガ、
御承知ノ通り今日ハホンノ二箇所デアリマ
シタカ、一二ノ會社ヲ除キマス外ハ、全部
四分トカ、五分トカ云フ配當ヲ致シテ居ル
ヤウナ有様デアリマシテ、營業狀態ハ順當
ニ行ツテ居ナイノデアリマス、然ルニ此ノ會
社ハ大體ニ於テ六分若シクハ八分ノ配當ガ
出來ル見込ガアリマス同時ニ、政府ハ
政府ノ出資金ニ對シテ六分ニナル迄ハ配當
ヲ取ラナイ、斯ウ云フノデアリマスカラ、
ソレダケデモ堅實ニ相成リマス、殊ニ況
ヤ市場ガ一ツデアッテ、之ニ米穀ノ集散ヲ
集注スルト云フ機構ニ定メルコトニナリマ

スカラシテ、自然ト是ガ發達シテ來テ、
所謂正米ノ取引ト云フモノハ、大體ニ於テ
市場ヲ通ス方ガ利益ダト云フ風ニ感ゼシメ
ルヤウナ風ニナルノデアリマシテ、此ノ會
社ガ不利益ナモノデアルト云フコトハ、言
ヒ得ナイモノデアラウト思フノデアリマ
ス、今マダ決定致シテ居ル譯デアリマ
セスケレドモ、臺灣米ノ移出管理ヲサレタ
場合ニ於テハ、臺灣米ガ此ノ市場ヲ通シテ
賣ラレル、又政府ノ持ツテ居リマス米ノ買
換等モ此ノ市場ニ依ッテ行ハレル、將來又
朝鮮ノ米ガ臺灣ノヤウナ狀態ニ置カレル場
合ニ於キマシテハ、是亦此ノ市場ヲ通ズル
ヤウニナリ、現在ノ計畫ニ於キマシテモ、
此ノ市場ニ對シテ、市場員ヲ通ジテ取引ス
ルコトト相成ルト考ヘマスガ、何レニセ
ヨ、相當此ノ會社ガ有利ニナル、サウシテ
從來ノ株ヲ此ノ會社ニ全部交換シ得ル狀態
ニ置カレテ居ルノデアリマスカラ、從來ノ
取引所ノ株券ヲ此ノ會社ノ株券ニ交換シ
テ、新シイ基礎ノアル會社ニ入り得ル、サ
ウシテ若シソレガ株式取引所ニ於テ見込ガ
ナイト御考ニナッタ方ハ、現金ニ依ッテ配分
シテモ宜イ、斯ウ云フノデアリマスカラ、
此ノ取引所ニ對シテ別ニ之ヲ沒收シタト
カ、何トカ云フ意味デハナイノデアリマス、

從來ノ株主ノ權益ヲ相當認メテヤツク計畫
デアリノデアリマス、市場ノ相場ナドハ問
題ニナリマセスケレドモ、私共ハ是ガ決定
致シマシタ後ニ於テ取引所ノ株券ノ市價ガ
決シテ下落スルヤウナコトハ斷ジテナイ
ト、斯様ニ信ジテ居ル譯デアリマス、其ノ
權益ヲ非常ニ害シタトハ考ヘテ居ラナイノ
デアリマス、ソレカラ瀧川サンハ財産ノ買
收ニ付テ云々ト云フ御話デアリマスガ、是
ハ固ヨリ時價竝ニ建設費、能ク之ヲ研究致
シ、更ニ其ノ利用價值ヲ研究致シマシテ、
サウシテ相當ナ人々ヲ以テ組織シタ官民ノ
委員會ニ於テ篤ト協議シテ決定致シマスノ
デアリマスカラ、公正ナル價格ガ之ニ依ッテ
定メラレルト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリ
マス

○瀧川儀作君 私ノ申上ゲマシタノハ、法
律論トカ、營業權ト云フモノヲ繰返シテド
ウシロト云フ意味デナクシテ、政府ノ今日
迄累次ニ御説明ニ相成リマシタ精神ハ大イ
ニ諒ト致シテ居ルノデアリマスガ、唯見方
ニ依ルノデアリマセウガ、損サヘ行カネバ
宜イデヤナイカ、斯ウ云フ態度デハ困ルノ
デアリマシテ、其ノ會社ノ株券ガ配當ノ保
證ノアル株デナイノデアリマスカラ、現金
デ貰ヘバ宜シイノデアリマスガ、其處ニ十

分ノ心シテ御取扱ヲ願ヒタイ、近頃新聞ヲ
拜見スル所ニ依リマスルト、從前米穀ヲ
扱ッテ居ッタ取引所ハ矢張り同ジヤウニヤレ
ラスト云フコトハ第二トシテ、取扱ッテ仕事
ヲ繼續シテ行ク者ハ、大阪正米ノ外ハ閉鎖
シテシマフト云フコトガ新聞ニ出テ居リマ
ス、是ハ無論今後決ルコト思ヒマスガ、
政府部内カラ出タコトデハナイトシテモ、
マア非常ニ營業者ハ不安ヲ感ジテ居リマ
ス、其ノ儘ノヤウナ形デマア暫クヤツテ見ル
ト云フヤウナ所ニ安心ガアルノデヤナイカ
ト思ヒマス、非常ニ神經過敏ニナッテ居リマ
スカラ、行政ノ手心トシテ不安ヲ與ヘナイ
ヤウニ、出來ルダケ一ツオ役所ノ方デ御注
意ヲ下サイマシテ、不安ノナイヤウニ……
不安ノ材料ガ出ナイヤウニ、而シテ今言ッ
大キナ犠牲……ト言フト、語弊ガアルカモ
知レマセヌガ、累次ノ内閣ガ斯ウシテヤル
ト言ッテ、心證ヲ與ヘラレタモノガナクナル
ノデアリマスカラ、大臣ノ仰セラレル如ク
ニ、新會社ノ株券ヲ持チマシテ、ソレ等ハ
過去ヨリハモット大キクナルカモ知レマセ
ヌケレドモ、事實ハソレヲ繼續シテヤツテ見
ル迄ハ、汚イ言葉ヲ用ヒテ見レバ、一杯騙サ
レタヤウナ形ニナルノデアリマス、其ノ邊

ニ付テノ御注意ヲ願ヒタイト云フコトニ外
ナラナイノデアリマス、意見ハアリマス、
例ヘバ配給會社ニ致シマシテモ、此ノ經濟
界ノ機構ト云フモノハ申上ゲル迄モナイ、
大臣ガ疾クニ御承知ノコトデアリマスガ、細
胞ノ働キノ如ク、巧妙ナ働キヲナシテ居ル
ノデアリマスカラ、一會社デ纏メルヨリモ
從前ノ儘ニ置キマシテ、又之ヲ監督シテ行
ク方ガ配給ガウマク行クト私ハ思ッテ居リ
マス、政府ガ既ニ十分ノ御調査ヲ遂ゲラレ
テ、此ノ案ヲ御出シニナツタノデアリマス
カラ、私ハ之ニ服從シテヤツテ行ク、斯ウ云
フ風ニ考ヘテ居リマスノデアリマスカラ、
營業者モサウ云フコトデ出來得ル限リ政府
ノ方針ニ從フヤウニ指導ハ致シテ居リマス
ガ、與ヘラレルモノガ餘リニ殘酷デアルヤ
ウニ考ヘルト、又大變ナコトニナッテ、將來
ニ影響スルコトデアリマスカラ、御精神ノ
アル所ヲ……出來得ルダケ營業者ハ遠慮シ
テ居リマスガ、政府ハ遠慮ナサラズニ、一
ツ思切ッテ解決シテ戴クヤウニ願ヒタイノ
デアリマス、多ク申上ゲルコトハ差控ヘマ
シテ、是デ質問ヲ打切りマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 市場ハ、從來ニ
アリマシタ所ハ必ズ市場ヲ置ク考デ居リマ
ス、此ノ取引方法ニ付キマシテハ、地方々々

ニ依リマシテ決定致サナケレバナリマセ
ヌケレドモ、市場ハ固ヨリ其ノ土地ニ置ク
考デアリマス、ソレカラ從業員ハ勿論本議
案ニ書イテアリマス通りニ、全部引繼ギマ
シテ、失業者ノナイヤウニ致シタイと思ヒ
マス、ソレカラ從來ノ取引員デアッテ、正米
ヲ扱ハザリシ者ニ對シマシテハ、是非トモ
是等ノ人ノ失業ハ誠ニ氣ノ毒デアリマスカ
ラ、之ニ對シマシテハ篤ト考慮シテ、之ニ
對スル所ノ轉業若シクハ將來市場員トナル
ヤウナコトニ付キマシテ、努力致シタイト
思ッテ居ル次第デアリマス、御趣旨ノ在ル所
ハ十分考慮シテ行キタイと思ヒマス

○伊澤多喜男君 資料ノ要求ヲシタイノデ
スガ、婦人ノ詰リ米作ニ對スル勞働ノ率ト
言ヒマスガ、男子ノ米作ニ關スル勞働ト百
分比ノヤウナモノガ出來マスナラバ、戴キ
タイ、少シ分リニクイカモ知レマセヌガ、
要スルニ日本ノ米作ヲシテ居ル者ハ、大體
男子ト女子ガヤツテ居ルノデアリマスガ、ソ
レガ全體ニ於テ男子ガ百トシテ女子ガ三十
五ダトカ或ハ五十ダトカ云フヤウナコトガ
大體ニ於テ分ルナラバ、ソレヲ戴キタイ、
ソレカラソレヲ私ハ非常ニ急グノデアリマ
スカラシテ、ソレデ大變ムツカシイ御調ハ
要リマセヌ、極ク大見當デ宜シイデスカラ

シテ、成ルベク早く戴キタイと思ヒマス、ソレダケチヨット……

○委員長(伯爵酒井忠正君) 午前中ハ此ノ程度デ止メマシテ、午後ハ一時三十分ヨリ開キマス

午前十一時五十二分休憩

午後一時五十二分開會

○委員長(伯爵酒井忠正君) 開會致シマス、午前ニ引續キ質問ヲ御願ヒ致シマス

○瀧川儀作君 御質問ガゴザイマセヌヤウデアリマスカラ、私ハ簡單ニ午前ノ問題ニ關聯致シマシテ、取引所問題ニ付テ商工大臣ニ伺ヒタイデアリマス、大臣ハイラッシヤラナイヤウデアリマスカラ、後デ御返事ヲ戴キマシテモ又次官デモ結構デアリマスカ、今次ノ此ノ米穀政策ノ爲ニ取引所ガ廢業シナケレバナラスト云フコトハ食糧政策ノ犠牲ニナツタ譯デアリマスカラ是ハ致シ方ナイト致シマシテ、近年ノ思潮カラ申シマス、尙統制經濟ガ強化サレマシテ、何デモカンデモ統制々々ト、殊ニ日本デハ半官半民ノ會社ガ出來ル、出來ルコトカ出來ナイコトカ分リマセヌガ、此ノ間モ生絲ガ又三億圓程度ノ會社ヲ拵ヘルト言ッテ騒イデ居ルヤウデスガ、サウ云フ風ニナツテ参リマスルト、何モカモ皆獨占會社ノ經營ニ

移ルト云フ、是ハ前刻申上ゲマシタ通り世ノ中ノ進歩ヲ妨ゲルコトニナルデアリマシテ、第一取引所ガ全部其ノ犠牲ニナラナケレバナラス、斯ウ云フコトニナルデアリマス、農林省ノ案ハ米穀政策ノ所謂犠牲ニナタノデアリマシテ、取引所撲滅策デヤナイガ、斯ウ云フ風ニナリマス、今度ハ商工省ノ關係ニ於キマシテ、取引所ハ非常ナ重要ナ使命ヲ持ッテ居リマス、一例ヲ擧ゲマスレバ、有價證券ノ取引所、特ニ一番ヤカマシイノハ東株デアッタデアリマスカ、是ハ全國ニ於キマシテ、過去ニ於テ株式會社ノ投資額ガ約二百億以上、今日ハ三百億ニモナルと思フデアリマスカ、今日デハ實業家トカ資産階級ノ者ノミナラズ、官吏ト云ハズ、軍人ト云ハズ、有ラユル階級ノ方々ガ株券ヲ所有シテ、居ル、有價證券ヲ所有シテ居ル、此ノ取引所ガ始終攻撃ノ的ニナツテ、遂ニハ統制經濟下ニ於テ破壊サレルヤウナコトニナルナレバ、世ノ中ハ殆ド闇ニナルデアリマス、取引所ニ於ケル公定相場ナルモノハ、其ノ商品ノ需要供給ダケニ止マラナイデ、財界ノ情勢カラ或ハ國際問題モ割出シテ、アソコニ相場ガ出來ルデアリマスカラ、自然ニ、例ノ東株ノ子株ガ親株ヨリ高クナツタ

ト云フヤウナコトハ、自然ノ財界ノ「パロメーター」デアリマシテ、必ズシモ「スベキレーション」ノ結果ノミトハ言ヘナイ、固ヨリ「スベキレーション」ニ對スル弊害ハアリマスケレドモ、之ニ依ッテ國民全體ガ一つノ之ヲ「パロメーター」トシテ、有價證券其ノ他ノ資産ヲ持ッテ居ル、又商品ノ上カラ申シマスルト、例ヘバ「ゴム」ノ取引ニ付キマシテ、資源局ガ非常ニ御取調ニナツテ居リマシタ結果、「ゴム」ノ取引所ヲ置キマシタナレバ、「ゴム」ノ公定相場ガ立ツ、世界ノ所謂「ゴム」ノ需要供給及ビ財界ナリ政治界ナリノ事情ヲ織込デ相場ガ立ツデアリマスカラ、其ノ取引所ニ依ッテ立ッタ相場ニ依ッテ、金融業者ハ安心ヲシテ金融ヲ與ヘマスカラ、日本ニ必ズ「ゴム」ガ集ルカラ、「ゴム」ノ取引所ヲ置カウデヤナイカト云フコトデ、資源局ノ方ニ「ゴム」ノ事情ト云フ問題ニ付テ意見ヲ伺ッテカラ、始メタノデアリマスガ、色々議論ガアツテ、商工省デハ御許ニナリマセヌデシタガ、是ハ三四年前ノコトデアリマス、若シソレガ出來テ居リマシタナレバ、日本ニ向ッテ「ゴム」ノ原料ガ集ルコトハモウ確實デアリマス、而シテ「ゴム」ノ加工品ハ一億圓以上ニ達シテ居ル、其ノ原料ガ日本ニナイ、而モ其ノ「ゴム」ノ

製造ハ「シンガポール」カラ南洋方面、日本ニ最モ近い所デ製造致シテ居ル、日本人モ凡ソ一億圓近クノ投資ヲシテ居ル、其ノ生産品ガ「アメリカ」及ビ「イギリス」ヘ集テシマツテ、日本ガ自由ニ出來ナイ、サウ云フ時ニ此ノ取引所開始致シマスルト、公定相場ガ出來ル、安心シテ、銀行ト云ハズ、有産階級ノ方ハソレニ金融ヲ與ヘル、倉庫ガ出來ル、「ストック」ガ集ル、サウスルト、茲ニ日支事變ガアツテモ、「ゴム」ノ非常ニ窮乏ヲ懸ヘテ居ルデアリマスガ、サウ云フ苦痛モ凌ゲタト思フデアリマス、サウ云フ働キヲ爲スモノデアリマシテ、取引所ナルモノハ、商品ト云ハズ、證券ト云ハズ、必ズシモ博打場デハナイデアリマス、博打ハ一つノ弊害デアリマスガ……、今ハ必要ハナイノカモ分リマセヌガ、自由經濟界ニ於キマシテハ十分ナル役目ヲ爲シテ居ルノデス、今モ役目ヲ爲シテ居ル、此ノ戰爭ガ濟ミマシテ、統制經濟ト云フ流行病ガナクナリマシタ時ニハ、所謂「パニック」ガ來ルコトハ決ッテ居ルデアリマス、其ノ時ニハ已ムヲ得ズ世界中到ル處ニ向ッテ貿易業者ガ進展シテ行カナケレバナラスヤウナ時ガ來ル、其ノ時ニ世界ノ安イ原料ヲ集メ、又日本ノ地方地方ニ於ケル原料ヲ増産セシムルトカ、色

色ノサウ云フ指導者ニナルノハ取引所デア
リマス、之ヲ今ノ儘ニシテ捨テ、置キマス
ト、取引所ハ全滅スルノデハナイカ、是ハ
大切ナ機關デアアル……、チヨット誤解ヲ防グ
爲ニ申上ゲマスガ、私ハ相當長イ間取引所
ニ關係致シテ居リマスガ、株ハ一株モ賣買
ヲ致シマセヌノデアリマス、ソレハ商工當
局モ御存ジデアリマス、米一石モ賣買ハシ
ナイノデアリマス、生絲一貫モ賣買ハシナ
イノデ、取引所ヲ政府ノオ役人ノ代理ノヤ
ウナ積リデ監督致シテ居リマスガ、實ニ取
引所ノ重要性ヲ感ジテ居ル者デアリマス、
ソレカラ内部ノ經營振ヲ見マシテモ、
取引所ノ取引員ナル者ガ、ポント手ヲ打チ
マシタラ、五十萬圓デモ百萬圓デモ證書ナシ
ニ取引ガ實行出來テ來ルノデス、決シテ嘘
ハ言ハナイ、偶ニ惡イ商人モナイデハアリ
マセヌガ、信用取引ガ日本ノ財界ニ於テ何
處ニ行ハレテ居ルカト言ヘバ、取引所ヲ指
シタイト云フ程置シイ取引ガ行ハレテ居
ル、其ノ舞臺デアリマス、サウシテ其ノ役
目ハサウ云フ立派ナ役目ヲシテ居ルニモ拘
ラズ、此ノ儘自然ノ儘ニ任セテ置キマス、
結局取引所ト云フモノハ壞レテシマフ、是
ハ財界ニ於テ著シイ損害デアツテ、將來ガ更
ニ發展飛躍ヲシナケレバナラス時ニ、斯ウ

云フ機關ガ失クナリマス、投資スルモノ
ガナクナル、金融モナクナル、斯ウ云フコ
トニナルノデアリマシテ、サウ云フ部面ニ
立ッテ居ルノデアリマスガ、今次ノ問題ニ對
シマシテモ、商工省ト農林省トノ間ガ非常
ニ統制ガ行ハレテ、我々取引所ニ關係致シテ
居リマス者ハ商工省ヲ親方様トシテ信賴シ
テ來タノデアリマスガ、一向支持ヲサレナ
イ、此ノ問題ハ仕方ガナイシテモ、取引
所ニ對シテ、清算取引ヲ轉賣買戻ノ制度ト
云フモノハ絕對不可ナルモノト御認ニナッテ
居ラレルノデアルカ、サウ云フコトデアレ
バ、今ニシテ當業者ヲ覺悟サセテ置キマセ
スト、困ル時代ガ來ルノデハアルマイカト
思ハレルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、
此ノ席デナクトモ結構デアリマスカラ、商
工當局ノ意見ヲ伺ッテ見タイト思フノデア
リマス

○松村眞一郎君 私ハ今ノ清算取引ニ付
テ、若シ瀧川サンニ商工省、農林省カラ御
答辯ガアリトスルナラバ、私ノ疑問トスル
所ヲ申述ベテ、適當ニ御考慮ヲ願ヒタイ、
清算取引ヲ廢メテ、成ルベク實物ノ方ニ今
度ノ米穀會社ハ向ケテ行クト云フコトニ考
ヘテ居ラレルヤウデアリマスガ、此ノ理由ノ
中ニ「取引機構ヲ改革シ投機取引ヲ抑制シ

實需ニ基ク正米取引ヲ原則トスル機構ニ改
メ」トアリマス、之ヲ見ルト、「投機取引ヲ
抑制シ」デアリマスカラ、投機取引ガ絕對
ニイカスト云フコトニモ解セラレナイ、ドウ
云フヤウニ投機取引ト云フモノヲ惡イト考
ヘラレテ居ラレルノカ、私モ實ハ疑問ニシテ
居ルノデス、世間デハ重要食糧品デアル殊
ニ米ト云フ日本國民ノ主要食糧ニ付テ投機
ヲ行フ如キコトハ、是ハ以テノ外ノ不心得
デアルト云フヤウナ議論ガ今行ハレテ居ル
ヤウデアリマス、ドウ云フ意味カ私ニハ分
リマセヌガ、私ハ宜イトハ申シマセヌ、併
シソレガソレ程惡イモノデアアルカト云フコト
ニ付テハ私ハ疑問ヲ持ッテ居ル、清算取引ノ
方法ガ惡イト云フコトハ或ハ言ヒ得マセウ、
併シナガラ方法サヘ良クスレバ、清算取引
ガ惡イトモ私ハ考ヘテ居ナイ、今瀧川サン
ガ、賭博トカ何トカ云フヤウナコトニ付テ
ノ觀念ガ取引所ニ結ビ付ケラレテ居ルヤウ
ナ世間ノ心持ヲ仰シヤッタヤウデアリマス
ガ、此ノ取引所ノ外ニ、今非常ニ盛ニ行ハ
レテ居ル競馬ト云フモノヲ見テ、常ニ私ハ
感ジテ居ル、千萬圓ノ政府納付金ヲスルト
云フガ如キ狀態デ、大變ナ金ガ此處ニ動イ
テ居ル、ソレハモウ當然博打ノデス、馬
券ヲ賣ルト云フコトハ……、刑法之ヲ禁ジ、
競馬法ニ依ッテ例外ヲ認メテ、博打ヲ許シテ
居ル、是ハ明瞭ニ博打デアアル、此ノ商品ノ
投機取引ト云フノハ、或意味ニ於テ相場ノ
公正ヲ生ミ出サウト云フ所ニ要諦ガアル、
私ハ投機取引ト云フコトニ付テ辯明スル譯
デモ何デモアリマセヌガ、斯ウ云フコトヲ
私ハ考ヘテ居ルノデス、凡ソ商品ナルモノ
ガ本當ノ値打ノ相場ガソコニ出テ居ナイ場
合ニ於テ、本當ニ商品ヲ愛スル人ガ見タナ
ラバ、憤慨スルダラウト思フ、此ノ商品ハ元
來百萬圓ノ値打ノスルモノデアアルガ、ドウモ
目ノ明カナイ者バカリ居ルト見エテ、此ノ
頃ハ皆買ハナイノデ、八十圓シカシナイト
云フ時ニ、自分ハ格別其ノ商品ニ付テ取引
ヲシテ居ル商賣人デモ何デモナイケレドモ、
自分ノ智慧ノ廻リ加減カラ考ヘルト、矢張
リドウモ是ハ百萬圓ノ値打ノスルモノデア
ルト云フコトニ見テ、ソレデ疑ナシト云フコト
ニナツタ場合ニ、其ノ人ハ必ズ百萬圓ニナルト
考ヘタ場合ニハ、九十圓デ買フダラウト思フ、
大量ニ買フデセウ、サウシテ暫ク持ッテ居ッ
タナラバ、其ノ人ニ先見ノ明ガアツタナラバ、其
ノ商品ハ其ノ眞價デアアル所ノ百萬圓迄上ッテ來
ルダラウト私ハ思フ、投機ノ本當ノ意味ハ商品
ノ實價ヲ愛スルト云フ所ニ在ルト私ハ思フ、
勞働者ノ方カラ申シマス云フト、折角非常

ナ勞力ヲ掛ケテ、額ニ汗ヲ流シテ、此處ニ或
製品ヲ產ミ出ス、其ノ製品ガ或價值ヲ持ツベ
キ筈デアルガ、世間ニハ目ガ無クテ、ソレ
ヲ或程度ヨリ認メナイトスルナラバ、ソレ
ヲ上スト云フ所ノ氣概、私ハサウ云フヤウ
ナモノヲ投機的ノ義俠心ト考ヘテ居ル、サ
ウ云フヤウナモノガナクテハ、本當ノ製品
ノ値打ガ出テ來ナイ、茲ニ農林大臣ガ頻リ
ニ御心配ニナツテ居ル米モ亦然リダと思フ、
農民ガ額ニ汗ヲ流シテ、朝早くカラ勞働ヲシ
テ、暑イ時ニモ勞働ヲシテ居ル、其處ニ米
ガ產マレタ、是ハドウ考ヘテ見デモ、ソレ
ハ三十圓シナケレバナラスト思ツテ居ルニ
拘ラズ、相場ガ二十圓シカシナイト云フ時
ニハ、ソレヲ眺メタ者ハ、是ハドウモイケ
ナイ、斯ウ云フ値段デハ商品ト云フモノノ
本當ノ値打ヲ考ヘナイモノデアルト云フコ
トニ憤慨シタナラバ、先程言ツタ所ノ或意味
ニ於テ商品ヲ愛スル、商品ノ眞價ヲ其處ニ
發揮セシメヨウト云フ氣概ガアレバ、ソレ
ヲ高イ相場ガ買フ、三箇月先ヲ買フト云フ
コトガ起ツテ宜イト思フ、ソレガ逆ニ非常ニ
高イ時モサウダと思フ、茲ニ二十圓ノ値打
シカナイモノガ、世間ガ相場ヲ煽ツテ、大キ
ナ投機者ガ三十圓デヤツタ、サウスルト群小
投機者ガソレニ附和雷同シテズットソレヲ

高ク買フ爲ニ、二十圓ノ價值シカナイモノ
ガ三十圓ニ上ツタト云フコトニナルト、今度
賣ルデセウ、幾ラデモ賣ツテ行ク、サウシテ
其ノ米ヲ下ゲテシマフト云フコトガ私ハア
ルダラウト思フ、サウ云フ意味ニ於テ、此
ノ投機作用ト云フモノハ、勿論是ハ自由經
濟ノコトヲ言フテ居ル、非常ニ必要ダト私
ハ思フ、サウ云フコトヲ輕ジテ考ヘルベキ
デヤナイと思フ、サウシテ私ハサッキ競馬ノ
コトヲ言ヒマシタガ、政府ハ何ノ爲ニサウ
云フ博打ヲ許シテ居ルノカト云フト、其ノ
理由ニ曰ク、私ハ別ノ理由ヲ持ツテ居ルガ、
ソレハ馬ニ關スル委員會デ私ノ意見ヲ其處
ニ述ベテ居リマスカラ、其ノ意味カラ言フ
ノデヤナイ、俗ニ眺メル人曰ク、ソレハ馬
事思想ヲ普及スル爲ニ必要ナンダ、馬券ヲ
買フト云フト、色々ナ馬ノコトヲ覺エル、
馬事思想ノ普及ト云フモノガ非常ニ大事ダ、
ソレハドウ云フ狀態ニ現レテ居ルカト云フ
ト、競馬ノ行ハレテ居ル時ヲ見マス、電
車ハ皆滿員デス、東京ノ如キハ皆臨時ノ省
線電車ヲ出スデス、ソレニ乗ツテ御覽ニナレ
バ分リマスガ、ソレニ依ツテ十分ニ馬事思想
ハ普及サレマス、馬ノ系統ハドウダトカ何
トカ云ツテ非常ニ……老少デスネ、子供ハ勿
論馬券ヲ買ヒマセヌケレドモ、眼ヲ何ト云

ヒマスカ、血眼ニナツテヤツテ居ル、馬事思
想ハ私ハ非常ニ普及スルト思ヒマスガ、サ
ウ云フ馬事思想ヲ普及スル方法ガ必要ナノ
カ、日本ノ主要食糧品ニ付テ眞劍味デ米ヲ
研究シタナラバ、ドノ位日本ノ國民ガ米ヲ
理解スルデスカ、私ハ馬券ヲ是ナリトシテ
居ル政府ガ米ノ清算取引ハ害惡デアルトカ、
世間ノ議論ニ附和雷同シテ、米ニ付テ投機
取引ヲヤツテハイケナイノダト云フコトヲ
何ノ理論デ以テ惡イト言ツテ居ルノカ、私ニ
ハ分ラナイケレドモ、サウ云フコトヲ言フ
ト、世間ノ時流ニ反シタ議論ヲスルコトニ
ナリマスカラ、私ハ論議ハシナイケレドモ、
私ニハ其ノ理由ヲ發見出來ナイ、米ノ投機
取引ガドウシテ惡イカ、斯ウ云フ點ニ付テ
農林大臣ト云ヒマセヌ、商工大臣ト云ヒマ
セヌガ、ドウモ實際米ノ取引ト云フモノノ
公定相場ナンカニ付テノ理解ヲドノ位持ッ
テ居ルノカト云フコトヲ實ハ疑ツテ居ル、實
ハ取引ト云フモノハ非常ニ大事ナモノデ、
特ニ清算取引ハ非常ニ大事ナンデス、先キ
ヲ見ルト云フノハ、今申シマシタ如ク本當
ニ鋭イ頭ノ人ガ、自己ノ確信ニ依ツテ、ソコ
デズット「カリキュレーション」、測定ヲスル、
ソレデスカラ、私ハ有價證券ニ付テハ限月短
縮論者デアル、殊ニ株式ノコトニ付テハ、私

ハ二箇月デヤツタ經驗ヲ持ツテ居リマスガ、
滿洲デ取引所ヲ造ル場合ニ於テ、今瀧川サ
ンノ言ハレタ有價證券ノ問題ニ付テ大連デ
取引所ヲ造ル時ニ、何ト云フ人デシタカ今
チョット忘レマシタガ、政友會ノ小泉策太郎
サンデスカ、其ノ方ガ計畫サレテ滿洲ニ取
引所ヲ造ル時ニ、ドウ云フ取引ヲ造ルノデ
スカト云フコトヲ私ガ尋ネタ處ガ、内地ノ
取引所ト同ジコトヲヤル、株式取引所ニ付
テドウ云フヤリ方ヲスルカト申シマス、
三箇月ノ限月デヤルノダト云フ話デアッタ、
私ハ其ノ時ニ法制局ニ居リマシタガ、法制
局ノ參事官トシテ勅令デヤルノデスカラ、關
東州デスカラ、ソコデ持ツテ來タ時ニ私ハ反
對シタ、斯ウ云フ所ヲ御選ビニナツタコトハ
贊成シマス、ソレヲ限月ヲ一箇月ニスルカ、
然ラザレバ當所株ヲ禁ズルカ、ドツチカ交換
問題ニシタイ、當所株ト云フノハ非常ニ或意
味ニ於テ花株ト云ヒマスケレドモ、是ハ甚ダ
弊害ガアル、「バロメーター」ト云フコトヲ今
言ハレマシタガ、「バロメーター」ソレ自身ガ
狂フコトガアルノデスカラ、折角「バロメー
ター」トシテ眺メヨウトスル時ニ「バロメー
ター」ガ狂ツテシマフトコトガ折々アル、何カ
ヤルト、今度取引ヲ暫ク止メルト云フコト
ガアル、解合スルトカ何トカ云ツテ、今日ハ

一ツ止メヤウ、此ノ間モヤッタデセウ、生絲ノ取引ニ付テ「バロメーター」ガ止ッテシマッタ、「バロメーター」ト云フモノガ其ノ時ニ大事ナンデアリマスガ、何ノ爲ニ「バロメーター」ヲ見ルカト云フト、低氣壓ガ來ルコトヲ見ルノデアッテ、平時ノ上リ下リナント云フモノニハ要ラナイ、我々ガ「バロメーター」ヲ見ルノハ、其ノ取引所ガ動カナイヤウナ時ガ大事ナンデ、其ノ動カナイ大事ナ時ニ「バロメーター」ガ止ッテシマフト云フノガ日本ノ現状デス、ソレハ日本ノ「バロメーター」デアルカト云フコトヲ私ハ疑ハザルヲ得ナイ、サウ云フ風ナ取引ノ政策デヤッテ居ル限り、果シテ米ニ付テ清算取引ヲ禁ズルト云フヤウナコトヲ言ッテ居ルノハ、ドンナ信念カラ出テ居ルノカ、此ノ米ニ付テハ投機取引ヲ抑制シナケレバイカスト云フヤウナコトヲ言ッテ居ルノカ、是ハ單純ナ時流ニ媚ビタ議論デヤナイカト云フヤウナコトヲ或ル意味ニ於テ私ハ疑ッテ居ル、先程申シタ如ク、何ヲ最モ獎勵スベキカト云ヘバ、私ハ非常ニ逆論デアリマスケレドモ、米ノ投機ヲ獎勵スルノガ一番宜イ、寧ロサウ云フ状態デ、馬事思想ノ普及ト云フコトハ非常ニ必要デス、血眼ニナッテ馬ノ系統ヲ、是ハドウ云フ「イギリス」ノ馬カラ出テ

居ル、「サラブレッド」ノ何ノカンノト云フヤウナコトヲ、サウ云フコトヲ覺エルト云フコトヨリカ、日本ノ米ノ状態ニ付テ、何處ノ米ガドウト云フコトヲ覺エルノト、ドツチガ價值ガアルカト云フコトヲ考ヘルト、私ハ馬券ヲ禁ジテ、米ノ相場ヲ獎勵シタ方ガ宜イ位ニ思ッテ居ル、兩方トモ良クハアリセセヌ、アリマセスケレドモ、米ノ方ハ寧ロ衆人ガ注意ヲスル、我々自身デソレヲ食ッテ居ルノデス、一人トシテ米ヲ食ハナイ者ハナイ、果シテ其ノ相場ハ何故今日高イノカト云フコトヲ考ヘタ場合ニ、是ハ天候ノ狀況ガ斯ウナッテ居ルノダト云フコトヲ考ヘルナラバ、國民學ッテ米ニ對シテノ理解ガ私ハ促進サレト思フ、取引所サヘ改善スレバ、チットモ弊害ガナイ、今ノ非常ニ惡イコトハ取引所ノ中デ言フト、吾行爲ト云フヤツガ一番イケンイ、客ノ證據金ヲ場ニ出サナイデ自分デヤッテシマフ、サウ云フコトヲ除ケバ清算取引ハ惡イコトハナイ、是ハドンナ取引ヲヤルカ書イテアリマセヌ、組合セ銘柄ト云フノデアル、大體ニ於テ下手スルト、ソレハ直グ延取引ニナッテシマフ、延取引デヤナイ清算取引……、餘程注意シナイト、ソレハ受渡ノ時期ニ於テノミ差金決済ヲ爲スコトヲ得ト云フ思想デオ

イデニナッテ、受渡ノ時力途中デアルカ、餘程眼ヲ鋭クシテ見テ居ナイト、大抵シクジッテシマフ、取引所ノ問題ト云フノハ、是ハ實ニ餘程シカリセヌト云フト、酷イ目ニ遭フデス、ソレデスカラ、取引所ヲ禁ズルト云フノデスカラ、ドウ云フコトカ知レマセヌガ、取引所ノ問題ニ付テ準備ナシニ、例ヘバ有價證券ニ付テ大藏大臣ガ何カヤルト云フト、直グ非常ナ調子ヲ茲ニ現シテ來ル、大藏大臣自身が取消シタヤウナコトガアリマスガ、エライコトヲ言ッテ居ルケレドモ、取引所ノ相場ガ狂ッタモノダカラ、今度大藏大臣ノ言明ガ少シ危シクナッテ來タト云フコトハアルノデス、過去ニ例ハ澤山アルノデス、私共若イ時ハ、若イ時ト云ッチャ少シヲカシイデスガ、商務局長ヲシテ居ル時ニ、取引所ニ眞正面ニ向ッテ行ッタノデス、ソレハ大阪ノ大株ノ事件デスネ、島德藏氏ノ事件ニ付テ正面ニブツ突ッテ行ッテ、私ノ意見ガ行ハレタ、行ハレタケレドモ、聽テ僕ハ彈カレテシマッテ、水産局長ニサレテ「ロシア」ヘ行ッタト云フヤウナ譯デス、サウ云フ譯デス、サウ云フモノデス、ソレデスカラ、下級ノ役人ガ眞正面カラ取引商等ヘ向ッテ行クト、酷イ目ニ遭フノデス、ソレダカラ米

ノ取引所ガ今日非常ニ是ハ巧ニ出來テ居ルケレドモ、後デ取引所ニ付テ申シマスガネ、元來米ノ取引所ハ、先ヅ例ヲ取レバ私ハ堂島ノ取引所ノ例ガ一番宜イ、大阪ノ堂島取引所ト云フモノガ幕府ノ時代ニ於テ米商會所ト云ッテヤッテ居ッタ、ソレハ各大名方ノ御藏米ガ大阪ヘ集リマシテ、米ノ大ナル集散地デマスネ、ソレデ其處ニ何カ相場ヲ定メナイト困ル、ソコデ出來タノガ大阪ノ堂島ノ米ノ取引所ノ前身デアル米商會所ト云フモノデス、ソコデソレガナカッタナラバ、相場ハ分ラナイノデス、各大名方ノ米ヲ集メル藏ガアリマスガ、ソレデ出來タノガ大阪ノ取引所デス、ドノ位大阪ノ米ノ取引所ガ米ノ公定相場ヲ定メル上ニ於テ功績ガアツタカト云フコトハ、是ハ大臣トシテ御考ニナラナクチャイカスト思フ、ドノ位之ニ對シテ我我ハ或程度ノ我が經濟界ノ發展ノ爲ニ役ニ立ッタカト云フコトモ考ヘテヤラナクチャイカス、併シソレハ必ズシモ總デガ其ノ意味ニ於テ感謝スル必要モアリマセスケレドモ、功績ハ認メテヤラナケレバナラス、惡イコトモヤッテ居ルデセウガ、功績ハ認メナケレバナラス、處ガ米ニ付テ申シマスト云フト、清算取引ト實米取引ノ間ニ於テ一番注意スベキ現象トシテ我々ノ考ヘルノハ、農商務大臣ノ仲小路サン、此ノ方ハ非常ニ

熱烈ナ人デスガ、仲小路サンガ農商務大臣ノ頃ハ米高イカラ抑ヘヨウト云フ時代デス、ソレカラ其ノ後ニ時代ハ轉換シテ、米ガ安イカラ吊上ゲルト云フ時代ニナッテ行ク譯デス、ソレデ私共ノ農務局長ヲシテ居ル時ハ、米ハ安イカラ吊上ゲル、仲小路サンノ時代ハ高イカラ抑ヘルト云フ時代デアルカラ、米ガナイ、米ガナイカラ高クナル、ソレデドウ云フコトヲシタカト云フト、仲小路サンノ時カラ申シマスガ、仲小路サンハ、非常ニ暴騰スルカラ……仲小路サンハ農商務大臣デスカラ、米ノ取引所ニ對シテハ、是ハ不都合デアルト云フコトニナレバ、取引所法ヲ改正シテオヤリニナツタ方ガ宜カッタと思フ、取引所ト云フモノガアリ、自分ガ大臣デオイデニナツタノデ、其ノ暴騰シテ居ル相場ヲ抑ヘル策トシテハ、暴利取締令ト云フ省令ヲ提ゲテ出テ來ラレタ、賣惜ミトカ云フヤウナコトヲヤッタリ、買占メヲヤッタリスレバ、之ニ戒告ヲ加ヘルト云フコトニナツタ譯デス、サウシテ増貫、岡半事件ト云フノガアリマス、ソレハ米ヲ煽ツタ譯デス、大臣ガ非常ニ憤慨サレテ、警視廳ニ言フテ、ソレヲ戒告ヲシテ止メロト言フタ、ケレドモ、相場ハ大臣ノ意ノ如ク動カナイ、大臣ガ憤慨サレ、バサレル程撥ネ返ス位ノ

モノデ、逆モイカナイ、何故カト云フト、大臣ハ省令デ取引所ニ真正面ニ向ヘラタ譯デス、私モ矢張り真正面カラ向ツタモノダカラ、撥ネ返サレタ、梟口ナヤリ方ハ搦手カラ行クヨリ仕様ガナイ、元來米穀統制法ト云フモノハ、實ハ取引所ヲ抑ヘル積リデ出來タモノデヤアリマセヌ、處ガ今度偶然ニモ是ハ過チノ功名ト云フカ、偶然ノ獲物ト云フカ、米穀統制法ト云フモノデ、是ハ安値ヲ吊上ゲル爲ニ拵エタ米穀統制法ト云フモノハ、生産費ヲ基礎ニシテ最低米價ヲ作リ、生計費ヲ基礎ニシテ最高米價ヲ作ル、其ノ發動ノ初ハ最低米價問題デ、米ガ最低米價ヨリ下ツタ場合ハ、最低米價ニ持ッテ來ル、ソレデ皆何デモカデモ買フト云フノデ、米ヲ吊上ゲタ、ソレガ米穀統制法、其ノ際ニドウ云フ現象ニナツタカト云フト、是デ吊上ゲマセウ、ソレデ宜カッタ、サウナルト云フト、取引所ハ上値ト下値ヲ米穀統制法デ極メラレテ、下ガラウトスルト云フト、農林省デ買ヒマス、上ラウトスルト賣ル、農林省ガ取引所ノ大手筋ニナッテシマッタ、即チ自分デハ取引所ノ場ニ出サナイデ、自分デ大相場ヲヤッテ居ル譯ダ、百萬石ヤ二百萬石ト云フ米ヲ持ッテヤリ出シタラ、直グニ相場ハ動カサレル、ソコデ仲小路サンノ時代ニ

又移リマスガ、仲小路サンガサウ云フコトヲヤラレタ其ノ次ニ原内閣ノ時代ガアリマシタ、ドウ云フコトヲヤッタカト云フト、矢張り其ノ頃ハ米高イ方ノ時デス、仲小路サンノ續キデス、ソコデ其ノ際ニ丁度何デシタ、横田千之助氏ガ法制局長官デシテ、私參事官デス、後藤サンガ斯ウ言ハレル、閣僚ノ中ニ、米穀政策ト云フモノハ數量調節デ行カナケレバナラヌト云フコトヲ強く主張スル人ガアル、ソレニ對シテ、價格調節デ行カナケレバナラヌト云フ人ガアル、若シ何カ價格調節ト云フヤウナコトヲヤルト、ドンナコトヲヤルノカト言ッテ私ニ問ハレタカラ、私ハ其ノ時分ハ頭ガ極ク若イ時デスカラ、サウデスネ、價格調節デヤルトスレバ、唯咄嗟ノ話デスカラ、利息制限法ト云フモノガアル、世間ニ高利貸ヲ退治スル爲ニ何割以上ハイカナイ、ソレ以上ノ契約ハ裁判所デ相手ニシナイト云フコトデ、利息制限法ハ上デ極メテアル、三割ト云フ利息ヨリイカナイ、利息制限ハ幾ラカ覺エテ居リマセヌガ、三割ト云フ利息ヲ取レバ、裁判所ニ債務者ガ訴ヘレバ取レマセヌ、ソレガ利息制限法、ダカラ結局サウ云フ契約ヲヤッタナレバ、犯罪人ニナルト云フコトデヤアリマセヌ、是ハ昔「ローマ」

法ナゾノ思想ハ「ユーヂユリ」、利息ソレ自身ガ犯罪ト云フ思想デアリマシタガ、今日ハサウ云フ思想デヤアリマセヌ、高利ハイカナイト云フノデヤッタガ、今日デモ利息制限法ト云フモノガアル、高利貸ハ何ヲヤッテルカト云フト、制限法ノ利息デ契約ヲヤリマス、併シ前ニ天引ヲヤッテシマヒマスカラ、法律ト云フモノハ何モナラヌ、ソレガ兎ニ角、今何モナラヌト云フコトヲ言フタガ、ソレヲ言フデ、サウデスネ、利息制限法ト云フモノガアルカラ、米ニ付テヤッテ見ルノモ一ツノ考ヘ方デハナイカト思フト云フコトヲ私ハ言フタ譯デス、ソレハドウカト云フト、米價制限法、私ノ案ハ最高米價ヲ先ツ考ヘタラ宜カラウ、何圓以上、最高米價、ソレ以上ノ賣買ハイカヌ、最低値段何圓、何圓以下ノ賣買ハイカヌ、賣ルコトハ勝手ダガ、ソレヲ裁判所ニ持ッテ行ケバ、裁判所デハ有効ト認メナイ、利息制限法ト同ジコトニ持ッテ行ッタラドウデスカ、私若イ時ノ話デスカラ、咄嗟ニサウ云フ案ヲ言フテ見タ譯デス、處ガ同ジコトデス、ヤッテ見タ處ガ……最高三十五圓トシマスカ、最低ヲ二十圓トシマスカ、サウ云フコトデ法律ヲ出ス、單行法デ宜イ、出シタ時ニドウナルカト云フト、今度ハソレヲ勵行スルト云フト、サウスル

ト、今ノコトヲヤル、米ノ高イ時ニハ代金ヲ拂ツタ上ニ手数料ヲ持ッテ來イ、手数料ト代金ト兩方デ米ヲ買フコトニナル、結局潰レテシマフ、安クナッタラドウカト云フト、公定ノ値段、代買フケレドモ、後カラ禮金トシテ割戻ヲセヨト云フコトニナリマスカラ、何モ出來ヤシナイ、法律デ制限シヨウトスレバ、ソナコトヨリ外ニハナイ、私ハソナコトヲ言フタガ、今考ヘテモ冷汗ガ出ル、ソナ無茶ナ、馬鹿ナコトヲ私言ツタ云フコトヲ考ヘテ、冷汗ガ出マス、今ハソナコトハ主務大臣ガ承知スル譯ガナイ、農商務大臣ガ提案シテ出サナケレバイケナイ、チヨット考ヘルト云フト、面白イヤウナコトニナルケレドモ、サウ云フコトデハイカヌノデス、大體法規一點張デ投機ヲ抑制シヨウト云フコトハ、實彈ヲ持ッテ行カナケレバイカヌ、規則ガアツテ、之ニ來レバ、直グニ米デ出スト云フコトニナラナケレバイカヌ、現在米穀統制法ト云フモノガアツテ、規則ト實彈ヲ持ッテ居ルカラ宜イガ、仲小路サンガ唯空砲ヲ放ッテ幾ラ聲ヲ大キクシテモ、米ヲ持ッテ居ナケレバ、如何ニ聲ヲ大キクシテモ何モナラヌ私ノヤツノハソレデスガ、天下ノ物笑ヒニナツテ、天下ニ變ナ法律ヲ作ツタ、勿論其ノ時ニ農商務省ガ提案シサウモ

アリマセヌデシタカラ、ソレデ濟ンダノデアリマスケレドモ、ソナヤウナ沿革ヲ持ッテ居ル米ノ問題アル、其ノ當時ハ今申シマシタ如クデ、ソレカラ後ハ又ズット高米價政策ノ時デス、高米價政策ト云フノハ高値ヲ抑ヘヨウト云フ時代デス、ドウ云フコトニナツタカト云フト、其ノ時ノ農商務大臣ハ外米課ト云フモノヲ農商務省ニ置イテ、外國米ヲドン／＼輸入シタ、米ガ足ラナイカラ……隨分農商務技師ト云フヤウナ人ガ外國ヘ行ッテ外米ヲ買ッテ來タ、其ノ際ニ山憲事件ト云フモノガアリマス、農商務技師ノ山田何某ナル者ガ、外米輸入商ノ鈴木辨藏、鈴辨ト云フ者ヲ野球ノ棒デ叩キ殺シタト云フコトガアル、サウ云フ附キ物ガアル、サウ云フモノガアル時代ガアツタノデス、ソレハ米ガ内地ニ足ラナイガ爲ニ外米ヲドン輸入シタ、ソレガ高値調節時代デス、委員長、宜ウガスカ、質問ニ矢張り關係ガアルカラ、言フノデスケレドモ、構ヒマセヌカ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 成ルベク御質問ノ要點……

○松村眞一郎君 是ハ非常ニ要點ナンデス、其ノ積リデ暫ク御許ヲ願ヒタイ、ソコデドウ云フコトニナルカト云フト、米ヲ買ツタ譯デス、ズン／＼買ッテヤツタ、處ガ段々

米ガ内地ニモ出來ルヤウニナツタ、ソレデ前田子爵ガ農商務大臣デ、初メ私ハ畜産局長デシタガ、暫ク商務局長ニ轉ジマシタガ、其ノ際ノヤリ方ハ關稅デス、米ハ買ハナイ、關稅ヲ撤廢シテ居ツタ、米ノ關稅ヲ撤廢シテ居ツタ、初ノ間ハ一年位撤廢シテ、ソレカラ六箇月、ソレカラ三箇月ト濟シ崩シニヤツテ、段々外米ヲ仰グ必要ガナクナツテ來タ、大體自給自足ノ時代ニ入ッテ來タ、サウナツテ來ルト云フト、段々今度ハモウ米ガソナニ呼ブ必要ガナクナツテ來タノデ、關稅タケデ呼ンデ居ツタ譯デス、サウナツタラ、前カラ持ッテ居ツタ外米ト云フモノハ要ラナクナツタ、ソコデソレヲ外國ニ賣ツタト云フコトニナツテ來ルノデス、要ラナイカラ外國ニ賣ツタ、サウ云フ時代デス、其ノ後米ヲドウシテモ作ラナケレバイカヌト云フコトニナツテ、今度ハ逆ニ増産政策ニ移ツタ譯デアリマス、サウシタラ藥ガ利キ過ギテ、朝鮮、臺灣ニ於テ澤山出來テ來テ、外地米ガ其ノ後壓倒シテ來タト云フ關係デ、サウ云フヤウナ時代ニナツタヤウナ工合ニ、米ト云フモノハ非常ニ波動スル譯デス、ソレデハ今日ハドウ云フ時代ダト申シマス、今日ハ私ハソレハ後デ大臣ニ質問シタイト思ッテ居リマスガ、今日ハドツチニモハッキ

リ態度ハ執レナイ時代デス、ソコデ大臣ハドウ云フ御考ヲ持ッテオイデニナルカト云フコトノ意味ノ、臺灣米ノ移出管理ノ席デ私ハ大臣ニ質問シタノデス、其ノ事ヲ茲ニ繰返シマセヌガ、兎モ角今日ノ時代ハ一方ニ於テ増産ヲヤラナケレバナラヌ時代デス、増産ヲヤルト云フノハ今大臣ガオヤリニナツテ居ル増産計畫ヲデスネ、増額計畫ヲ一方ニヤリナガラ、片方ニ於テハ無暗ニ出來ナイコトヲ考ヘテ居ル時代デス、大臣ハサウ云フコトヲ説明サレタノデス、今日銃後ノ農民ハ米ガ安クナツタ場合ニハ大變氣ノ毒ナ目ニ遭フ、サウシタ場合ニ戰線ニ居リマス所ノ將士達ハ、自分ノ郷里ノ方ノ米ガ慘落シテ困ッテ居ルト云フコトニナルト、後顧ノ憂ヲ茲ニ生ズル譯デアリマスカラ、戰線ノ將士方ノ爲カラ考ヘテモ、米ハ或程度ノ値段ヲ維持シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ大臣ハ此ノ間言ハレマシタネ……言ハレマシタヤウニ私ハ思ッテ居リマスガ、ドウデゴザイマスガ、チヨット確カメマスガ……一言ダケデ宜イノデス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 一括シテ御返事ヲ申シタイト思ヒマス

○松村眞一郎君 ソレデハサウ致シマセウ、ソコデ私ノ大臣ノ御言葉ヲ聽キ取ツタノ

ハサウデス、詰リ米ハ安クハ出来ナイ、斯ウ云フ譯デス、併シナガラ日本ノ今ノ戰時ノ狀態デハ、何時ドシナコトガアッテモ、食糧ガ不足シナイヤウニ米ヲ充實シテ置カナケレバナラス、詰リソレダケノ準備ガナクチャナラナイト云フ意味ニ於テ増産計畫ヲ考ヘナケレバイカヌト云フコトニナル、ソコデドウ云フコトニナルカト云フト、増産ト云フモノヲヤレバ、米ハ下ルノデス、大イニ増産ヲ考ヘテ居ッテ、米ガ下ラナイト云フコトヲ考ヘテ居ルナラバ、自由經濟ニ於テハ許サレナイ議論デス、大臣ハ今増産ヲヤラウト斯ウ考ヘテ居ッテ、其ノ通りヤレバ、米ハ大イニ出来テ來ル、米ガ出来テ來レバ、米價ガ下ガルト云フコトハ當リ前デス、大臣ハ米價ハ下ゲタクナイ、米ハ澤山欲シイト云フノデス、ソレハ自由經濟ニ於テハ矛盾デセウ、増産ヲ大イニ獎勵シテ居ラレル大臣ハドウ御考ニナリマスカ、サウシテ米ハ下ッチャ困ルト言フ、答辯ハ求メマセヌ、答辯ヲ求メナイ理由ハ是カラ言ヒマセヌ、後カラ御聽キシマスヨ、斷片的ニハ私ハ聽カナイ、ソレハ統制經濟ナルガ故ニソレガ出来ルノデス、統制經濟ハ兩全、兩者ヲ全クスルコトノ政策ガ取レル、兩全政策ガ取レル、ソレカラ兩端ノ謀ト云フコトニ

ナリマセウ、惡イ言葉デ言ヘバ、兩天秤ト云フコトニナルデセウ、俗語ヲ使ヘバ、矛盾ニ非ズシテ、兩方ニ和スル、兩和政策デス、兩天秤政策デス、ドッチニ轉ンデモ宜イト云フ譯デス、増産スレバ宜イ、増産シタラ、今度ハ米ガ安クナラナイヤウニ價格ノ方デ統制シマスガ、ソレガ自由經濟デハ出来ナイ、統制經濟ナラバ出来ル、ダカラ、大臣ノ言ウテ居ラレマスコトハ、ソレハ上手ニヤレバ出来マス、ソレハ大臣ハ了解シテ居ルカドウカ知リマセヌ、知リマセヌガ、答辯ヲ先ニ要求スレバ、私ニ共鳴シテ言ハレルノハ宜イ、後ノ答辯ハ共鳴サレルデセウ、今日サウ云フ政策デ行カタクチャナラス、増産準備ハ大イニヤラナケレバナラス、併シナガラ直グ増産シテ來タ場合ニ於テハ米ガ下ラナイヤウニ考ヘナケレバイカヌ、ソレハ首鼠兩端ヲ持スル譯デヤナイ、本當ノ意味ノ兩端ノ謀デ、大臣ハ隨分困ルダラウト思ヒマス、サウ云フ意味デ大臣ハ仰セラレテ居ルト思ヒマス、其ノ程度デ御答辯ヲ戴キマセウ

ト思フノデアリマスケレドモ、私ハ必ズシモ此ノ清算取引ガ惡イモノダトハ思ハナイ一人デアリマシテ、此ノ清算取引ノ妙味ト云フモノハ自カラ存スルモノガアル、從ッテ此ノ度此ノ法律ニ依ッテ清算取引ヲ極度ニ制限サレ、其ノ結果ニ付テモ追ッテ御尋ヲ申上ゲタイト思フ點モアリマスルガ、チヨット差當リ是ハ大臣デナクテモ結構ナンデスガ、從來古イ所ヲ申上ゲマセヌデモ、長イ間ノ歲月ヲ通觀致シマシテモ、大體日本ノ現狀ニ於テ從來ノ此ノ米價ノ波動率ヲ見テ見マスノニ、是ハ私實際ノ統計ヲ存ジマセヌカラ、其ノ數字ヲ御聽キ申上ゲタイ意味ニ於テ申上ゲルノデアリマスガ、實物市場ニ於ケル米價ノ高下ノ波動ヨリモ遙カニ清算市場ニ於ケル米價高下ノ波動ノ方ガ幅ガ少カッタヤウニ概觀致シテ居ルノデアリマスガ、何カソレニ付テ御取調ガゴザイマスラナ御教ヲ願ヒタイト思ヒマス、チヨット關聯シテ御願ヒ致シタイト思ヒマス

ニ付テハナカノ議論ガアリマス、ソレニ觸レタ私ハ御質問ダト考ヘマス、其ノ意味ニ於テ御答辯ヲ願ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 米穀ノ取引ニ關シマシテ松村委員ヨリ詳細ナル御高見ヲ承リマシテ、誠ニ有難ウゴザイマシタ、本案ヲ作リマスニ付キマシテモ、松村サンニハ特ニ其ノ特別委員長ニナッテ戴イテ、十分御研究ヲ願ッタ譯デアリマシテ、案ノ内容ハ能ク御承知デアリマスルカラ、私ハ案ノ内容ニ付キマシテハ申上ゲマセヌ、唯清算取引ト云フモノハ非常ニ價格ノ調整ニ役立ッモノデアルト、斯ウ云フ事柄ニ付キマシテハ私モ左様ニ思ッテ居リマス、只今中島男爵ノ御話ノ實物市場ダケノ價格ノ高下ヨリモ、清算市場ノ取引ニ依ル所ノ價格ノ高下ノ方ガ少イ、即チ價格ヲ安定スル結果ヲ齎ラシテ居ルカドウカト云フコトニ付テノ御話デアリマシタガ、其ノ通りデアリマス、即チ長年ニ亙ッテ需要供給ノ間ニ立ッテ取引所ガ取引實質ノ結果、價格ノ調節ヲ致シテ來タト云フ事柄ハ、少カラズ米價ノ上ニ於テ貢獻シテ居ルト云フコトハ確カニ大ナルモノガアルト思フノデアリマス、併シナガラ私共ガ最近研究致シマシタ所ニ依リマスト、今松村サンノ御話ノヤウナ風ニ實際ニ米ガ高

クナルト思フカラ、早く買ッテシマツテ置く、又ドウモ先デ米ガ安クナルト思フカラ、早く賣ッテシマフ、斯ウ云フ風ナ實際ノ米ヲ取引ル、米ヲ渡スト云フ觀念ノ下ニ清算取引ガ出來マスレバ、誠ニ結構デアリマスガ、現在ノ實情カラ申シマスと云フト、ソレハ比較的少數デアツテ、今日實際ハ米ヲ受取ル考ガナクシテ、サウシテ米ヲ買ッテ、明日ソレガ高クナレバ直グ賣ッテ、明後日ハ其ノ差金ヲ懷ニ入レル、又安クナルト思ツタラ、空ニ米ノナイノニ賣ッテ、サウシテ其ノ次ニ安クナツタモノヲ買戻ス、斯ウ云フ風デ商賣ヲ致シテ居ル者ガ多數デアリマシテ、少數ナラ宜シイノデアリマスケレドモ……誠ニ米ノ知識モ何モナイ者迄モ之ニ參加シテ、賣ッタ買ッタヲヤツテ居ルノデアリマシテ、其ノ結果殆ド賭博類似ニ互ツテ居ル者モ少クナイヤウニ認メルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ實際ノ何カラ申シマスと、今一例ヲ申上ゲマスガ、昭和九年ニ生産取引ト云フモノノ賣買サレタ高ハ一億九百七十萬石ノ巨額ニ上ツテ居リマス、而シテ本當ニ取引シテ、米ノ受渡シヲシタノハ僅カニ百萬石デアリマス、其ノ次ノ年ガ九千五百萬石商ヒヲ致シマシテ、取引ヲ致シタノガ百四十萬石、其ノ次ガ七千七百萬石取引シテ、僅

カニ七十六萬石、其ノ次ガ八千四百八十萬石ノ取引ヲシテ、實米ノ受渡シヲシタノハ六十六萬石、昨年ノ如キハ四千二百六十萬石商ヒヲシテ、實際ノ受渡シヲシタノハ七十六萬石、斯様ニナツテ居ルノデアリマシテ、殆ド九十八「パーセント」迄ガマルデ賣ッタ買ッタト云フコトガ事實ニ現レズシテ、其ノ間ノ轉賣買戻ニ依ツテ商賣シテ居ルト、斯ウ云フ實情ニナツテ居ルノデアリマス、正米市場ノ方ハ無論ハ別デアリマシテ、是ハ正米ノ取引ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ……、此ノ點カラ見マスと云フト、ドウモ相當何等米ノ知識ノナイ者ガ斯ウ云フコトデ投機的ニヤツテ居ル者ガ少クナイ、斯ウ云フコトガ認メラレルノデアリマス、ソレカラ値幅ノ狭イヤウナ統計ガ出テ居リマスガ、高イト云フ聲ガシテ居ルト、何デモカデモ高カラウ高カラウト云フノデ、ドン／＼買需要ガ起ツテ來マシテ、高イ方ニ走ツテ行クト云フ弊害モアリマス、又安イトナツタラ安イ方ヘ安イ方ヘト行ツテ賣買ヲシテ行ク風ガ起ルノデアリマス、今日値幅ガ狭クナツテ居ルノハサウ云フ事柄ガノベツ起ライノデアツテ、一時的ノモノデアツテ、平生ハ最高最低ノ範圍内ニ於テ比較的穩健ニ取引サレテ居ル結果デアラウ

ト思フノデアリマス、私共ハ此ノ取引ガ必ズシモ博打的ノ行爲トハ決シテ思ヒマセヌガ、全ク今御話ノ如ク需給調節ノ上ニ一ツノ働キヲ致シテ居ルコトトハ考ヘマスケレドモ、此ノ實際ノ實例ニ徴シテ見テ、眞實ノ商賣取引ノ上ニハ比較的實際ノ力ガ少イモノデハナカラウカ、サウシテ一面ニ於テ却テ投機ト云フ方デ可ナリ多數ノ人ニ迷惑ヲ掛ケテ居ル點ガアルノデヤナカラウカ、之ヲ今回止メテシマツタノデアリマス、其ノ代リ御話ノ趣旨ニ基イテ、實際ニ品物ヲ渡ス、實際ニ品物ヲ受取ル、其ノ賣買ノ間ニ於テ他ヘ賣ルコトハ認メタ、即チ延取引ト云フモノヲ茲ニ拵ヘマシテ、從來ハ格附一本デ行キマシタノヲ、銘柄別ニ相對取引ニ致シマシテ、所謂本當ノ取引ヲサセル、サウシテ茲ニ二箇月間ト云フ期限ガアルノデアリマス、先ノ見透シヲ致シマシテ、買附ケル、或ハ持ツテ居ルモノナラバ早く賣ルト、斯ウ云フ風ナ建前ノ爲ニ二箇月ノ延取引ト云フモノヲ認メタヤウナ次第デアリマス、色々此ノ取引所ノ構成ヤラ又米ノ實際ニ付キマシテ御教ヲ蒙ツタノデアリマスガ、御教ノ通り、御話ノ通ニ増産計畫ヲナシ、時ニ減産計畫迄ナスト云フヤウナ狀態デ、米ノ問題ハ高カッタリ安カッタリ其ノ度ニ國內

ニ於テ相當是ガ大問題トナツテ、議論モサレ、研究モサレタ問題デアリマス、此ノ度我々ガ一面ニ於テ増産計畫ヲ立デ、而シテ世間デ言ハレマス比較的增加ノ容易ナル臺灣、朝鮮ニ於テ積極的ニ増産ヲ圖ラナカッタト云フコトニ付キマシテ、ドウモ矛盾スルデハナイカト云フ風ナ御議論モアルヤウデアリマスガ、午前中ニモ絲原委員ニ對シマシテテヨット御答ヘ致シタノデアリマシテ、即チ昭和九年頃米ガ非常ニ餘ツテ困ツテ、サウシテ所謂朝鮮ノ増産計畫ト云フモノモ止メ、臺灣ニ於テハ水利事業ト云フモノヲ中止シテ、米ノ生産ヲ減ラシテ貰ツタヤウナ場合ガアリマシタノデ、サウ云フコトヲ考ヘテ見マシタ時ニ、今日ハドウ云フ風ニ米穀政策ヲ執ツテ宜シイカト、斯ウ申セバ、内地ヲ通ジテ消費ニ間ニ合フダケノ米ヲ作ツテ、其ノ上ニ安心ノ出來ル程度ノ償ヒノ出來ルダケノ生産ヲ致サナケレバナラス、斯ウ云フ見地カラ致シマシテ、内地ト外地トヲ分ケテ、外地ニ於テハ何石、内地ニ於テハ何石、斯ウ云フ風ニ分類シテ増産計畫ヲシテ戴クコトニ致シタノデアリマス、朝鮮ト雖モ、臺灣ト雖モ決シテ減産ヲスルト云フ風ナ考ハ持ツテ居リマセヌ、併シ若シ假ニデス、比較的臺灣ガ増産ガ易イト云フノデ、

此ノ際臺灣ニ全力ヲ擧ゲテ増産計畫ヲ立テ
マシタナラバ、只今臺灣總督府ニ増産ヲ願ッ
テ居ル五十萬石、六十萬石デナク、百萬石
トカ百五十萬石トカ云フ極度ノ増産計畫ヲ
立ッテ貰ッタラ、出來ルト思ヒマス、朝鮮ニ
於テモ亦百萬石ヤ二百萬石ハ、今年ハ兎ニ
角トシテモ、來年度カラヤレバ出來ルト思ッ
テ居ルノデアリマス、併シナガラ左様ニシ
テ向フニ水田ヲ増加シ、臺灣朝鮮ノ如キ比
較的低廉ニ生産ノ出來ル土地ニドン／＼増
産計畫ヲシテ、増産サシタ曉ニ於テ我々ノ
出征シタ將士ガ歸ッテ來テ、農村ノ勞力モ補
充サレ、又平和狀態ニナッテ、サウシテ肥料
モ十分ニ供給ガ出來ル、斯ウ云フ時ニナッ
場合ニ於テハ、茲ニ大キナ増産ガ出來テ、
米ノ洪水ガ起ルヤウナコトガアッテ、米價ガ暴
落致シマス、折角歸ッテ出征將士達ヲ失望
サセルノミナラズ、農村ニ又再ビ大問題ガ
起ルノデアリマスカラ、出來得ル限りハ内
地ノ増産計畫ヲ矢張り従前ノ計畫通り進メ
テ行キマシテ、サウシテ内外地ヲ一貫シテ
増産ヲ併行シテヤッテ行ク、斯ウ云フ風ニ致
スコトガ適當デハナイカト考ヘマシテ、内
地四百萬石、朝鮮百二十萬石、臺灣ニハ基
準産米カラ約四十萬石程ノ増産ヲシテ貰フ、
斯ウ云フ計畫ヲ立テ、進ンデ居ルノデアリ

マシテ、只今松村委員ノ言ハレタ兩全ト申
シマスカ、先ヅ大體サウ云フ方角ニ向ッテ進
ンデ行キタイト思ッテ居ル次第デアリマス
○松村眞一郎君 大變詳細ニ御答ヘ願ヒマ
シテ、私モ大臣ノ御考ニ對シテ共鳴ヲ感ジ
マスカラ、非常ニ満足ニ存ジマス、ソコデ
今申上ゲタ兩全ノ方策ヲ執ルト云フコト
ハ、是ハ有馬前農林大臣ガ昨年ノ十二月ニ、
米ノ公定價格ヲ決メタイト云フノデ、米穀統
制委員會ニ掛ケマシテ、標準最高價格ト云フ
モノヲ昨年通り三十五圓四十錢ニ止メタ、
ソレデ最低標準價格ノ方ハ二十九圓九十錢
ト云フノデ、此ノ方ハ上ッテ居ルガ、最高標
準價格ガ其ノ儘ニ止メテアルト云フ所ニ統
制經濟ノ考ガ入ッテ居ル、是ハ有馬サンガ大
變主張サレタ所デアッテ、米ガ今非常ニ高
イ、ソレハ生産費モ高イノダカラ、最低ノ
方ヲ上ゲルト共ニ最高ノ方モ上ゲナケレバ
ナラヌト云フコトハ當然デアルガ、今低物
價政策デ物價ノ昂騰ヲ抑制シヨウト云フコ
トヲ内閣全體ヲ擧ゲテヤッテ居ルノダカ
ラ、先ヅ農村ニハ實ニ氣ノ毒ダケレドモ、
我慢シテ貰ッテ、最高ハ此ノ儘ニシテ置カウ
ト云フノデアッテ、此ノ點ニ有馬サンハ非常
ニ力ヲ入レテヤッテ居ル、其ノ代リ條件ガ附
イテ居ル、ソレハ肥料價格ヲ高クシナイヤ

ウニト云フノデアッテ、之ニ依ッテ農家ヲ隱
忍サセテ居ル、是ハ統制經濟ナルガ故ニ出
來ル、臺灣ニ於テハ増産計畫ヲヤラセナガ
ラ生産調節ヲヤル、是ハ自由經濟ノ場合ニ
於テハ矛盾デス、臺灣ハ或意味ニ於テ……
廣イ意味ノ專賣デスカラ、統制シテ居ルノ
ダカラ兩方出來ル、矛盾ニ非ズシテ兩全デ
アル、臺灣ノコトハ言フ必要ハナイノデア
リマスガ、兎ニ角最高米價ヲ上ゲナイコト
ニ付テハ非常ニ前ノ大臣ガ力ヲ入レテ居タ
ノダカラ、農林大臣ハ肥料ノ價格ヲ下ゲタ
リ何カスルコトヲ餘程ヤッテ戴カナイト困
ルト思フ、後デ配給ノコトニ付テ申上ゲ
タイコトガアリマスガ、大臣ハ他處ヘ行カ
レマスカ
○國務大臣(櫻内幸雄君) チョット衆議院
ノ會議ニ出テ參リマスカラ……
○松村眞一郎君 大臣ハ今銘柄別ノ延取引
ト云フモノヲ茲ニ許スト云フヤウナコトヲ
言ッテ居ラレマスガ、茲ニ私ハ御注意シテ置
キタイノハ、ソレハ銘柄別ナラ宜イデス、
マダ今ノ所デハ……、處ガ組合セ銘柄ト云
フ問題ガアル、組合セ銘柄ノ延取引ヲ許ス
ト云フコトハ、是ハ餘程注意シナイト、清
算取引ニ逆戻リスル虞ガアルカラ、能ク注
意シテ戴キタイ、元來日本ノ米ノ品種ガ多

過ギル、世間デ胚芽米ヲ食ベヨウデヤナイ
カト云フ聲ガ盛ニナツタ時ニ、有馬前農林大
臣ハソナナコトハ簡單ニ出來ナイ、假ニソ
レガ宜イトシテモ、日本ノ米ノ或種ノモノ
ハ胚芽ガ存續スルコトノ出來ナイモノガア
ルカラ、先ヅ品種ヲ統一シテ掛ラナイトイ
ケナイ、胚芽ノ無クナッテシマフ米ガアルカ
ラト云フコトヲ言ハレタ、之ニ對シテハ何
トモ言フコトハ出來ナイ、是ハ尤ナノデア
ル、唯時流ヲ追フテ胚芽米ヲヤラウトシテ
モ、品種ガソレニ適スルモノバカリデハナ
イ、サウ云フ根據ノアル意見ヲ述ベラレタ
カラ、到頭世間ハ其ノ聲ヲ潜メテシマツタ、
滔々トシテ世間ハ言フテ居ッタケレドモ、有
馬サンガ斯ウ云フコトヲ言ッタモノダカラ、
世間ハ默ッテシマツタ、世間ノ流行的ノ聲ハ
止ツタ、併シナガラ是ハ已ムヲ得ズサウ云フ
コトニナッテ居ルノデ、成ルベク品種ハ少ク
スルガ宜イ、ソコデ組合セ銘柄ヲ若シヤラ
レルナラバ、其ノ組合セ銘柄ヲ後ニ一銘柄
ニスルト云フ目標ノ下ニヤラナイト、イケ
ナイ、サウシテ品種ヲ成ルベク少クスルト
云フコトヲ考ヘテ戴イテ、區々雜多ナ米ヲ
統制スルヤウニシナイトイケナイ、大臣ハ
銘柄別ニヤラシテモ宜イヤウナコトヲ言ッ
テ居ラレマスガ、ソレハ宜イデセウ、併シ

是ハ唯理想ナクシテヤルナラ、格別ノヤリ
方ト同ジデス、今ノ組合セ銘柄ト云フモノ
ハドウ云フコトニナッテ居リマスカ

○説明員(末永術者) 只今組合セ銘柄デ
ヤッテ居ル所ハナイヤウニ思ヒマスガ……

○松村眞一郎君 組合セ銘柄ガナイト云フ
ナラ、サウ云フコトガ行ハレナイト云フナ
ラ、ソレデ宜シイ、併シ此ノ案ノ委員會ノ
途中ニ於テハサウ云フコトヲ考ヘタコトモ
アルノデスカラ、注意シテ置キマス、ナケ
レバ結構デス、若シヤルナラ品種統一ト云
フ理想ノ下ニヤラナイトイケンイ、唯サウ
云フモノガアルカラト云ッテ、ソレヲ取引ノ
形ニスルト云フヤウナコトハイケンイト思
フ

○政府委員(周東英雄君) 只今ノ御話御尤
デアリマス、本法ニ依ル市場ヲ開イテ参リ
マス場合ニ於キマシテハ、場所ニ依リマシ
テ組合セ銘柄別ノ取引ヲ考ヘテ行キタイト
思ッテ居リマスガ、ソレニ付キマシハ今後ノ
問題デアリマスガ、能ク御趣旨ノ點ヲ考ヘ
マシテ、組合セラルベキ銘柄ニ付キマシテ
ハ十分ニ注意ヲ致シテ参リタイト考ヘマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) チョット御了
解ヲ得テ置キタイトデアリマスガ、問題ニ
依リマシテ説明員ニ説明ヲシテ戴ク場合ガ

アルト思ヒマス、先程説明員カラ答辯ガア
リマシタガ、是ハ御了解ヲ得テ置キマセヌ
デシタカラ、改メテ御了解ヲ得タイト思ヒ
マス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○男爵中島久萬吉君 サウスルト、矢張り
銘柄取引ニ組合セラフ許ス御方針デスカ、絶
對ニ格附、銘柄ト云フモノハ此ノ際截然ト
區別ヲスルト云フ御方針カト存ジテ居リマ
シタガ……

○政府委員(周東英雄君) 延ノ市場ヲ認メ
マスル箇所ニ付キマシテハ、銘柄別ノ取引
ダケニ致シマスコトガ配給ノ圓滑ヲ圖ル上
ニ於キマシテ或ハ必要ノ起ル場合ガアリハ
シナイカト考ヘマス、其ノ場合ニ於キマシ
テハ十分考慮致シマス、其ノ限度ニ於テ組
合セノ銘柄別ノ取引ヲモ許シテ行キタイト、
斯様ニ考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 事ハ取引所ノ方ニ關係シ
テ居リマスカラ……二十二條ニ於テ日本米
穀株式會社ノ資本金ガ三千萬圓ト云フコトニ
ナッテ居リ、二十四條ニ於テ政府ハ千五百萬
圓ヲ限リ出資スルト云フコトニナッテ居リ
マスガ、民間ノ方ノ千五百萬圓ノ中、米ニ
關スル取引所ニドノ位ガ考ヘラレテ居ルカ
ト云フコトヲ概括的ニ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(周東英雄君) 現在ノ取引所ニ
於キマシテハ米ニ關スルモノト考ヘラレマ
スモノガ約千二百萬圓程ゴザイマス、其ノ
範圍ニ於キマシテ考慮ヲ致シタイト考ヘテ
居リマス

○松村眞一郎君 今ノハ株券ノ拂込金額デ
スカ

○政府委員(周東英雄君) 拂込濟ノ金額デ
ゴザイマス

○男爵中島久萬吉君 チョットソレニ關聯
シテ御尋ね申上ゲテ置キタイトデアリマス
ガ、サウスルト現在ノ取引所ノ所有財産ヲ
御買取ニナル場合ニ、凡ソ御豫定ハドノ位
ニ及ブト云フ御豫定デゴザイマスカ、今ノ
土地財産デゴザイマスネ、有體財産ダケデ
結構デス

○政府委員(周東英雄君) 此ノ點ニ付キマ
シテハ、現在米ニ關シマスル取引所ノ動産
不動産ト云フモノガ帳簿價格ニ於キマシテ
約七百五十萬圓程アルノデゴザイマスガ、
其ノ中デ必ズシモ新會社ニ全部譲渡シ得ル
トモ考ヘラレテ居ライナイデアリマシテ、
其ノ譲渡シ得ルデアラウカト考ヘラレルモ
ノニ付キマシテ一應ノ調デゴザイマスガ、
ソレニ付キマシテハ、約四百三十萬圓餘ノ
モノガ考ヘラレテ居リマス、譲渡シ得ル

モノト認メラレルモノデス、一應是ハ考ヘ
ラレタモノデスガ、是モ同様ニ帳簿價格デ
アリマス、御參考ニ申上ゲテ置キマス

○松村眞一郎君 全般ニ互ツク質問ヲ致シ
タリ、條文ニ觸レテ質問ヲ致スコトヲ御
許シ願ヒタイ、逐條ニ致スノデハアリマセ
ヌ、條文ヲ見ナガラ質問スルト、第一條ヲ
見マスルト、代理者ハ媒介ノ業務ヲ行ハム
トスルモノトアリマス、第四條ニハ代理者
ハ媒介ヲ爲ス者トアリマス、片方ハ業務ト
アッテ、片方ハ業務ト云フノハナイデアリ
マスガ、是ハドウ云フ區別ガアリマスカ

○政府委員(周東英雄君) 第一條ノ方ハ、
是ハ營利的ニ行ヒマス場合ノミナラズ非營
利的モ共ニ入ルノデアリマスガ、繼續的ニ
米ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理者ハ媒介ノ
仕事ヲ致シマスモノヲ包括シテ此ノ中ニ入
レテ居ル譯デアリマスガ、四條ノ方ニ於キ
マシテハ、是ハ必ズシモサウ云フ風ナ繼續
的ニ集團的ニ賣買、或ハ米穀ノ賣買ノ代理、
媒介ト云フヤウナコトヲ行ハナイモノ、例
ヘバ生産者ト云フヤウナモノニ付キマシテ
モ必要ナ場合ニ命令ヲ出シ得ルヤウニ對象
ヲ擴ゲテ居ルノデゴザイマス

○松村眞一郎君 サウシマス、之ヲ具體
的ニ伺ヒマスガ、第一條ノ中ニハ商人ト産

業組合ガ入ッテ居ル譯デスネ、第四條ニハ商人、産業組合、地主ト、斯ウナリマスカ

○政府委員(周東英雄君) 御話ノ通りデアリマス

○松村眞一郎君 サウシマスト、此ノ第一條ノ方ハ勅令ヲ以テ定ムルモノヲ除外スル譯デスネ、ソレカラ許可ガ除外サレテ居ルノデスカ、其ノ關係ハ分リマセスガ、チヨット片方ハ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得ト、何カ昨日デシタカ、私ド云ウフモノヲ命令事項ニスルノカト云フコトヲ御示シ願ヒタイト言ッタンデスガ、ソレハ參考資料ノ中ニアリマスカ、アリマスレバソレヲ見テ質問致シタイと思ヒマスガ……

○政府委員(周東英雄君) 勅令事項ハ御手許ニ差上ゲテアル筈デアリマス

○松村眞一郎君 小サイコト迄入リマスト逐條ニナリマスカラ……第一條ハ分リマシタ、サウスルト第四條ノ方ハ……

○政府委員(周東英雄君) 第四條ノ方ハ個個ノ場合ニ於ケル處分命令デゴザイマスノデ、勅令事項ニナイ譯デゴザイマス
○松村眞一郎君 サウ致シマスト、商人ノ配給機關デアルコトハ、是ハ世間デ誰シモ異議ナイデセウ、サウシマスト、販賣組合、購買機關モ亦配給機關ニナル、斯ウ云フコ

トニ考ヘテ宜シウゴザイマスカ、當然サウガラウト思フ、米穀配給統制法ニ於テハナル譯デスガ、販賣組合ハ米穀配給機關ナリ、購買組合ハ米穀配給機關ナリ、ソレハ何カ言ハレルト思ッテ警戒サレルトイケマセスカラ、直グニ答辯ヲ求メマセヌ、能ク御考ノ後御答辯ヲ願ヒタイ

○政府委員(周東英雄君) 今ノ點ハ御話ノ通りデゴザイマス

○松村眞一郎君 サウ致シマスト、大地主ノヤウナモノハ配給機關トハ言ヘナイケレドモ、賣ルト云フ場合ニ於テハ配給ニ携ハルノデアリマス、賣ルト云フ所、買フト云フ所ハ只今ノ配給ノ範圍デアル、サウ云フ風ニ解釋シテ差支ナイデスナ

臣ノ思召モ承リマシタガ、ドウモ矢張り此ノ生産取引ト云フモノハ、今度ノ指導員ニナル人間モ多年掛ケテ其ノ妙味ノ利益ト申シマスカ、ウマ味ヲ心得テ居ルノデアリマスシ、又人情本來ノ上カラ見マシテモ、矢張り此ノ取引トナルト、ソコニドウシテモ思惑賣買ト云フコトニドウシテモ走り易イノガ人間ナンデアリマス、而シテ今度ハ色色ノ方法ニ於テ生産取引類似ノモノ迄モ御禁止ニナッテ居ル、即チ絕對ニ思惑賣買ノ餘地ヲ極度ニ少クスルト云フヤウナ關係カラシテ、市場區域外ニ於テ、從來ノ生産取引ニ味ヲ占メテ居ル連中ガ思惑賣買ヲシハシナイカ、一言ニ申セバ場外取引ガ盛ニナル傾向ヲ生ジハシナイカト云フ點ガ、非常ニ私心配ニナルノデアリマスガ、其ノ點ノ御當局ノ御見込ハ如何ナルモノデゴザイマスカ、簡單デ宜シウゴザイマスカラ御答辯願ヒタイ

○政府委員(周東英雄君) 第四條ノ米ヲ賣リマス場合ニ於キマシテハ只今ノ御話ノ通りデ、或場合ニ於キマシテ地主等ニ及ビマス譯デアリマス

○政府委員(周東英雄君) 御心配ノコトハ御尤モデアリマスガ、此ノ市場ニ關シマシテハ、先ヅ簡單ニ申シマスト、全國ニ於テノ米ノ取引ヲ致シマス市場ノ經營ヲ、單一ノ會社ニ集中シテ行ハシムルコトニ致シマシテ、茲ニ政府ノ有力ナル監督權ヲ持タセルト云フコトガ一つ、ソレカラ全國市場

○男爵中島久萬吉君 私午前ニ缺席ヲ致シマシテ、或ハドナタカカラ御質問ガアツカモ知レマセヌ、重複致シマシタナラバ、御宥シヲ願ヒタイと思ヒマス、私ハドウモ此ノ法律ノ施行後ニ於ケル懸念ガマダ多々アルノデアリマスガ、其ノ中デ只今モ丁度生産取引ニ關係シテ大分質疑應答ガアリ、大

ノ設置ヲ致サセマスル箇所及ビ其ノ近郊ニ於キマシテ、相當數量ノ米穀ノ取扱ヲ致シテ居リマス問屋サン、或ハ全販聯ト云フヤウナ者ハ市場ノ市場員ニナッテ戴ク、ソレカラ市場ノ市場員ニナル者ニ付キマシテハ、原則トシテ新シイ市場ニ於テ取引ヲサセルト云フヤウナ方法ヲ採リマスルコトニナリマシテ、大體此ノ移動米、管外移出米等ノ主要ナル部分ヲ、此ノ取引所ニ集中致サセタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、併シナガラ唯御話ノ如キ、是等ノ市場ニ於ケル價格ト申シマスカ、相場ト云フヤウナモノヲ場外ニ於テ利用致シマシテ、所謂合百ト云フヤウナコトデモヤル虞ガナイカト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ絶體ニ之ヲ禁止シテ少シモ之ヲ行ハシメナイト云フコトハ、或ハ困難デハナイカト思フノデアリマスガ、只今申上ゲマシタヤウニ、主ナ米ノ取扱者ニ對シテハ、市場員トシテ市場ニ集中シテ行ハセルヤウニ致シマスシ、ソレカラ若シモ場外ニ於テ合百ノヤウナコトヲ行フ者ニ對シテハ罰則ノ規定ヲ以チマシテ、十分ニ監督シテ參ルト云フヤウナ考ヘ方デ居ル譯デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○男爵中島久萬吉君 今ノ集中ト云フコトナンデゴザイマスガ、集中ト云フモノガ果

シテ有效ニ行ハル、ニ至リマセウカ、集中セシムル手段、方法、組織、制度、ソレニ付テ一ツ大凡ノ御覽ニナル所ヲ御聽カセ願ヒタイ、此ノ集中ト云フコトガ既ニ私心配ナノデアリマス。

○政府委員(周東英雄君)

只今申上ゲマシ

タヤウニ各地方ニ於キマシテノ主ナ問屋サシ、産業組合ト云フモノヲ市場員ニ致シマシテ、其ノ市場員ノ取扱フモノハ、之ヲ市場ニ於テ販賣セシムル、場外ニ於ケル取引ヲ致サセナイト云フコトニ考ヘテ居リマス、サウシテ唯ソレダケデハ勿論完全デナイカモ知レマセヌガ、一面ニ於キマシテ市場ニ於ケル價格ト云フモノヲ、取引ノ價格ヲ大體法律ノ第七條ニ於テ定メマス譯デアリマス、ソレ以外ノ價格デハ取引ガ出來ナイヤウニナリマスシ、又市場ノ取引ニ關シマシテハ、色々ト產地等カラ消費地等ヘ米ヲ動カシマスルニ付キマシテ、會社ガ中ニ入りマシテ便宜ヲ圖ル、例ヘバ荷動キニ付キマシテ、爲替ノ立替ヲ短期ニ致シテヤルト云フヤウナコト、或ハ荷役等ニ付キマシテ取纏メテ世話ヲ致シマシテ、便宜ヲ圖ルト云フヤウナコトニ致シマシテ、出來ルダケ消費地市場等ニ集リマスル米ニ付キマシテ、冗費ヲ省イテヤルト云フコトニ依リマシテ、

市場ヘノ集中ヲ助ケテ行クト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○小林嘉平治君

私モ午前中外ノ委員會ニ

出テ居リマシタノデ、或ハサウ云フ質問應答ガアツカモ知レマセヌガ、私ノ御尋ネスルコトハ、衆議院デ問題ノ中心トナツテ居リマシタ修正ニ付テアリマスガ、衆議院ニ於ケル委員長ノ報告ヲ見マスト云フト、此ノ米以外ノ雜穀、肥料ノ取引ニ付テアリマスガ、コンナ風ノ報告ヲシテ居リマスガ私ハコンナ簡單ナモノデヤナカラウト心得テ居リマス、此ノ修正ノ行ハレタコトヲ非常ニ私ハ遺憾ニ思ウテ居ル一人デアリマスカラ御尋ネスル譯デアリマス、委員長ノ報告ニ依リマス、此ノ雜穀肥料ノ取引ト云フモノヲ提案ヲシタ政府ノ理由ハ、現在ノ正米市場ニ於テ現ニ雜穀ヤ肥料ノ取引ヲシテ居ルカラシテ、今ソレヲ廢止スルコトニシタラ非常ニ困ルダラウ、斯ウ云フ消極的ノ理由デアアルノデアリマス、ソレカラ一面又衆議院ノ修正ノ理由トシテ、委員長ハ斯ウ云フコトヲ報告シテ居リマス、麥其ノ外ノ雜穀又ハ肥料ニ付テハ、現在ニ於テ既ニ統制アル配給組織ガ確立シテ居ル、ソレデ此處デ取引スル必要ハナイ、コンナ風ニ理由付ケテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付

キマシテハ、或ハ今日ノ戰時ノ態勢カラシテ、肥料配給ナンカモ相當御世話ヲ焼キ出シテ居ルノデ、幾ラカソソナ意味ノコトモ言ヒ得マスケレドモ、此ノ立法ハ決シテ戰時バカリノモノデナイノデアリマシテ、我ハモット大キナ期待ヲ持ッテ居ルノデアリ

マシテ、之ヲ工合良ク運用シタナラバ米ノ配給ノ制度ハ之ニ依ッテ完成スル、此ノ位ノ期待ヲ持ッテ居ルノデアリマス、政府ノ御提案ノ理由モ甚ダ是デハ消極デアルト同時ニ、衆議院ノ修正シタ部分モ甚ダ我々同意ガ出來ヌノデアリマスガ、政府ハ果シテコンナ消極的ノ理由デ御提案ニナツタノデアリマスカ、又衆議院ニ對シテノ御答辯ヲ伺ッテ見ルト云フコトモ甚ダ迷惑デアルケレドモ、ドウ云フ論議ガ委員會ニ於テ交サレテ居ッタカト云フコトヲ一應御示シテ願ヒタイノデアリマス。

法、ソレカラ米穀自治管理法、是モ主トシテ米ダケデアリマシテ、斯ウ云フ雜穀肥料等ヲ勿論扱ッテ居ナイノデアリマスカラ、此ノ取引所ノ中ニ雜穀、肥料ヲ入レマスコトハ積極的ニ考ヘタ譯デハナイノデアリマシテ、事務的ニ考ヘマシテ之ヲ取入レタ譯デアリマス、然ル所衆議院ノ委員會等ニ於キマシテハ、只今申ス通りニ米穀取引所ト云フ議論、只今仰セラレマシタ肥料ノ如キハ、既ニ確安ハ統制會社ニ依ッテ配給ガ統一セラレ、過燐酸「カリウム」等モ同様ノ風ニナツタ今日ニ於テ、有機質ノ肥料ハ殘ッテ居リマスケレドモ、之ヲ特ニ積極的ニ取引ニ掛ケルト云フコトハ如何ナモノデアアラウカト、斯ウ云フ議論ガ主ナモノデゴザイマシテ、其ノ爲ニ遂ニ削除セラレタヤウナ譯デゴザイマス。

○小林嘉平治君

只今ノ打明話ヲ聽カシテ

戴キマシテ、能ク私共肚ニ入ッタノデアリマスガ、サウシマス、大體政府ハ衆議院ノ修正ニ御同意ヲ爲サツタト云フコトニ我々ハ考ヘテ取扱ウテ宜イノデゴザイマス、ソレガ一ツト、ソレカラ此ノ雜穀、肥料ニ付テノ取引所ハ、私サウ云フ方面ヲ餘リ詳

シク知りマセヌケレドモ、現ニ他ニ別ノ取引所ガゴザイマシテ、サウ云フ所デ扱ウテ居ルノデスカ、モウサウ云フ取引所ハ絶對ニ置ク必要ナシト御認メニナッテ居ルノデアリマスカ、ドウ云フ風ニシテ、此ノ需給關係ノ適正ヲ期スル意味ニ於ケル市場ヲ御造リニナッテ居ルカ、其ノ實情ヲ一ツ御示シテ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(松村謙三君) 私、衆議院ノ修正ニ政府ガ同意スルカドウカト申シマスコトハ、是ハ大臣カラ御答ヘ申スノガ妥當デアリマシテ、政府委員デアリマス私カラ御答ヘスルノハ適當デハナイト存ジマスガ、衆議院ニ於キマシテハ、大臣ハ、若シモ貴衆兩院ニ於テサウ云フ御修正デアリマ斯拉バ、其ノ場合ニハ其ノ修正ヲ尊重致シマスガ、只今ノ所ハ直チニ修正ニ同意致シ兼ねマスル、斯ウ云フ答辯ヲ致シテ居リマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス、ソレカラ雜穀ノ取引ノコトニ付キマシテハ米穀局長カラ申上ゲマス

○政府委員(周東英雄君) 只今正米市場等ニ於キマシテ雜穀ノ取扱ヲ爲シ得ルヤウニ定款ニハナッテ居ルノガ數箇所ゴザイマシマス、現實ニヤッテ居リマスノハ小樽ト神戸デゴザイマス

○小林嘉平治君 私ノマア第一ノ點ハ、政務次官ノ御答デ御心持ガハッキリト分リマシテゴザイマスガ、第二ノ點ハ、今取引所デソレ等ノ場所デヤッテ居ルト云フコトモ凡ソ承知シテ居ルノデゴザイマスガ、何カ特殊ノサウ云フ方面モ合セ取引シテ居ル所ガ外ニモアツタヤウニ思ヒマスガ、ソレハナイノデゴザイマスカ、チヨット私ハ餘リ是ハ事情ヲ知ラヌモノデスカラ……

○政府委員(周東英雄君) ソレハ定款ノ規定ノ上デハヤリ得ルヤウニナッテ居リマシテ、現實ニマア十三年度ニ於テヤッテ居リマス箇所ハ只今申上ゲタヤウナ箇所ニ限ラレテ居リマス

○松村眞一郎君 只今ノ其ノ雜穀トカ肥料ノ取引市場ニ、是ハ削ラレタカラ、宜イノデスカ、若シ同意スレバソレデ宜イノデスカ、若シ之ヲ存置スルト云フ場合ニ於テハ政府ノ原案トシテ立法技術上ドウモ甚ダ不完全デヤナイカト云フコトヲ私ハ感ズルノデスカ、ソレハ第二十九條ノ二項ヲ見マスト、「米穀市場ノ開設ニ附帶シ」トアリマスネ、開設ニ附帶スルノデアッテ、米穀市場内ニ於テトハ書イテナイノデスネ、サウナルト云フト雜穀ヲ賣買取引スル市場ハ雜穀市場ソレカラ肥料ヲ賣買スレバ肥料市場トナルダ

ラウト思フ、雜穀ヲ米穀市場ノ中ニト云フナラバ附帶ト云フノハワカシイ、米穀市場内ニ於テトカナントカ云フコトデナイト附帶ト云フト餘計ニヤルコトデスカラ……ソレハ何故サウ云フコトニナルカト云フト罰則ハ米穀市場ノコトバカリ書イテアル、例ヘバ第四十五條ヲ見マスカ、第四十七條ヲ見マスカ、皆アリマス、元來罰則ノ規定ハ非常ニ嚴格ニ解釋スルコトニナッテ居ル、法律上類推トカ云フコトハ、ヤラナイ、何故カト云フト人ヲ犯罪トシテ縛ルノデスカラ、人ヲ犯罪トシテ縛ル場合ニハ明確ナ規定ヲ書カナケレバナラヌ、疑義ガアルヤウナ規定ヲ以テ人ヲ縛ルコトニナルト大變ナコトヲ起ス、後デ大審院ナンカデ引續リ返ッタ時ニ非常ナ問題ガ起ル、明瞭ニ米穀市場ニ附帶シテ作ル市場モ亦米穀市場ナリト云フコトヲ明瞭ニ書イテナイ場合ニ於テハ、第四十五條、第四十七條ノ罰則ヲ適用シテ人ヲ罰金ニ處シテ見タリ、一年以下ノ懲役ト云フコトガアリ、二年以下ノ懲役ト云フコトガアルカラ、コンナコトヲヤッタ騷動ヲ起ス、立法技術トシテ何カ突嗟ノ思ヒ付キデ一旦サウシテ法律ガ出來タ時ニ、ヒヨットナンカノ時ニ斯ウ云フモノヲ入レタ二十九條ダケ、……其ノ序ニ二十九條ニ對スル罰則ヲ

何處カニ書イテ居ル、今度衆議院デ修正シテ居ルガ、第五十條第二號ノ所デスナ、コンナコトヲ唯ヤッタノデアッテ、之ヲ若シ原案デ通ジテ來ラレタ場合ニ於テハ私ハ罰則ノ規定ノ適用上不備デアルト云フ意味ニ於テ米穀市場……本法ニ於テ米穀市場……罰則ノ規定ニ於テ米穀市場ト稱スルハ雜穀、肥料何ヲ取引スル……大麥、大豆ヲ取引スル市場ヲ包含ストカナントカ書イテナイトサウ云フコトヲ私安心シテ人ヲ懲役ニ處スルト云フヤウナコトノ議論ヲ立テルコトハ私出來ナイ、人權ニ非常ニ關係ガアル、サウ云フ大切ナ條文ヲ曖昧ナヤウナ書キ方ヲシテ置イテ、之ヲ原案ナリトシテ政府ガ若シ主張スルナラバソレハ間違ッテ居ルト私ハ思ヒマス、ドウカ知りマセヌガ、貴方ハ司法省トドウ云フ關係ヲ持ッテ居ルカ知リマセヌガ、私ハサウ讀ミマス、四十五條、四十七條ニ於テ米穀市場ト書イテアル場合ハ、私ハ本當ノ米穀市場ト云フコトニ讀ム積リデス、サウ云フヤウナ疑義ガアルコトヲ私申上ゲテ置キマス、ダカラ若シ寧ロ原案ヲ主張セラレルナラバ、罰則ニ付テ何カ考慮シテ置カヌト疑義ヲ生ズルカラ、サウ云フコトノ爲ニ特ニ罰則迄細心ナ考慮ヲ拂ッテヤルベキデアルカドウカト云フ實質ノ問題

ハ別デス、立法技術上ノ疑義ガアルト云フコトダケ申上ゲテ置キマス

○小林嘉平治君 先程ノ質問ノチヨット結論ヲ押シテ御尋ネスルノデアリマスガ、サウシマス東京ナリ大阪ナリ小樽ナリデ、現ニ雜穀肥料取引所デ扱ッテ居ルト云フコトニナリマス、今ノ此ノ法律ニ依ッテ此ノ米穀取引所ハ廢止ニナルト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フモノノ扱ハ、ドウ云フ風ニ相成ルノデアリマスカ

○政府委員(周東英雄君) ソレハ雜穀等ノミニ依リマシテ、後ニ從來ノヤウナ市場ヲ經營致シテ行ク場合ニ於テ、ソレハ認メラレテ行ク譯デアリマス、此ノ法律ニ依リマシテソレヲ禁止スル譯デハゴザイマセス

○松村眞一郎君 私ガ今申シマシタコトガ、昭和五年ノ商工省令第四號ト云フモノデ、正米市場規則ト云フモノガアルノデス、其ノ第二條ニ斯ウ書イテアル、「正米市場ニ於テハ米ノ外麥、大豆其ノ他ノ雜穀又ハ肥料ヲモ賣買スルコトヲ得」ト書イテアル、「正米市場ニ於テハ」トアル、今度此ノ案ハ正米市場ノ開設ニ附帶シタルノデスカラ、此ノ兩者ヲ比較シテモ私ハ立法技術上疑義ガアルト云フコトダケ斷言シテ置キマス、若シ原案ヲ主張サレルコトニナレ

バ、司法省ノ政府委員ヲ呼ンデモウ少シ明確ニシナイト云フト、其ノ最後ニ入ッタ場合、若シモ委員ノ御多數ガ政府ノ原案ヲ認メテ、衆議院ノ修正ノ方ライカナイト云フコトニ若シ御決定ニナレバ實質上、サウスルト罰則ノ點ニ付テ疑義ヲ持ッテ居リマスカラ豫メ申上ゲテ置キマス、衆議院ノ儘ナラバ宜シイ、是ハ削ルノデスカラ私ハ其ノ際ニ質問デスカ、意見デスカ、意見ハ質問ノ理由トシテ申上ゲマス、私ハ今米穀統制法ハ、餘計ナコトハシナイデ米一點張りガ宜イト思ヒマス、肥料ハ肥料デ別ニヤレバ宜イ、肥料政策、雜穀政策ト云フコトハ別ニシテモウ米ダケヲ見テ居レバ宜イ、純眞ニ米一點張りデ總テノ法制ヲ整ヘテ行ツタ方ガ宜イト思ヒマス、ソレハ私ハ又後デ……陳述ガ長クナリマスカラ今此處デハ差控ヘマスカ、法制ト體裁トシテ私ハ米穀配給統制法ナリ、現行法上ノ米穀統制法ト云フモノハ、米穀自治管理法ト云フモノト對立シテ如何ナル對照ヲシテ、如何ナル地位ニ立ツベキカト云フコトハ、別ニ議論ヲ持ッテ居ル、今政務次官ハ姉妹法ト云フコトヲ言ハレマス、米穀統制法ト米穀管理法トハ姉妹法デ宜イト思ヒマス、併シナガラ米穀配給統制法ト云フモノハ姉妹法ト見テ居ナイ、餘リ問題ガヤ

カマシクナリマスカラ今日ハ差控ヘマスカ、後デ全體ノ米穀法制ヲ完備シテ行カナケレバナラスト云フ意味ニ於テ、大臣ノ御考ヲ承リタイト思ッテ居リマス、私ハ現在ノ米穀法規ハ不完全デアルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、是ハ私ハ臺灣ノ方ノ米ノ際ニ一應大臣ニ申上ゲテアリマス、米穀法ナラバ宜イケレドモ、米穀統制法ノ出來タカラ法制ハ半端ニナッテシマッタト云フコトヲ、私ハ申シテ居リマス、米穀法時代ハ宜イガ、米穀統制法ト言ヒ出シタ時ニハ其ノ際ニハ是ハ常時立法デアアル、常時立法デアッテ、米穀自治管理法ハ異常時立法デアアル、常ニ異ルト云フノデアリマス、異常時立法デ非常時立法ハ缺ケテ居ル、現在ノ米穀統制法ハ……デスカラモウ一ツ序ニ申シマス、今度ノ米穀配給統制法ト云フモノハ米穀統制法ト云フモノガ總則ノ規定デス、生産ノコトモ、配給ノコトモ、消費ノコトモヘタ總則規定デ、原則規定デアアル、此ノ原則規定カラ各論ニナッテ來ル、米穀配給統制法ト云フノハサウ云フ考デナケレバナラス、米穀統制法ノ下ニ假ニ想像スレバ米穀生産統制法、米穀消費統制法、米穀配給統制法ト云フモノガ出テ來ル、私ハサウ云フ風ニ米穀配給統制法ト云フモノヲ眺メテ居ル、サウ云フヤウナコト

デアリマスカラソレハ箇々ノ條文ニ付テ質問シマスガ、先ヅソレダケノ關係ヲ端的ニ申シマスレバ、此ノ法律デハ非常ニ大弱點ガアル、第七條ノ規定デス、是ハ米穀統制法ヲ承ケタ規定デアリマス、米穀統制法第七條ノ規定ヲ承ケタ各論的ノ規定デアアル、此ノ規定ガ此ノ法律ノ生命ニナッテ居ル、私ノ眺メル所デハ、配給統制法ノ中ノ何ガ一番大切ナ規定カト云フト第七條ガ大切デアル、外ノ規定ハ或意味ニ於テ皆第七條ガ本ニナッテ居ル、米穀配給統制法ハ何ヲ定メタリヤト言ヘバ第七條ヲ定メテアル、私ノ見方ハ……皆第七條ヘ持ッテ行カムガ爲ニ色々ナ工作ヲ考ヘテ、米穀會社ヲ造ッテ見タリ、色々ナ商人ヲ統制シテ見タリスルノハ、何處ヘ持ッテ行クカ、第七條ヘ持ッテ行ク、ソレデアルカラ若シ米穀統制法ヲ先ヅ眺メルナラバ、米穀統制法ヲ力強クスルガ爲ニ第七條ヲ置イテアル、第七條ガ本當ニ働イテ來ルト云フト、米穀統制法ハ要ラナクナル、斯ウ云フヤウニ何デモカンデモ市場ハ、最高、最低價格ノ範圍内デ賣買シテ値ガ決ッテシマッテ、政府ノ持ッテ居ル米ヲ賣ル必要ガ無い、政府ノ持ッテ居ル米ガ最高ヨリモ騰ッタ時ニハ、最高價格ニ應ズル、最低ヨリモ下ツタ時ニハ、最低價買フト云フコトニナル

ト最低ヨリ下リツコハナイ、最高ヨリ騰リツコハナイ、第七條ガ十分ニ働クナラバ統制法ハ要ラスト云フコトニナル、非常ニエライコトヲ書イテアル、ソコデ先キ中島男爵ノ御尋ニ觸レテ來ル、市場ニ集中スルト云フコトガ出來ナケレバ、第七條ノ規定ハ何ノ作用モシナイ、何ト云ッテモ市場外ノ米ハ、最高、最低ノ制限ヲ超エルコト勝手次第ト云フコトニナル、デスカラ第七條ヲ十分活用シ得ル爲ニハ、農林省ノ方デハ此ノ第七條ガ生キノトシテ働クガ爲ニハ、市場集中主義ト云フ答辯ヲセラレルガ、ドンナ考ヲ以テ集中スルノデアアルカト云フコトヲ能ク考ヘテ答辯シテ貰ヒタイ、今直グダト矢張り餘リエライ答辯ハ出來ナイ、能ク考ヘテ來ナイト出來ナイと思ヒマスカラ、考ヘテ御答辯ヲ願ヒタイ、大臣ノ居ラレル時ニ質問應答ヲシテ居リマス、私ハ第七條ヲサウ云フ見方ヲシテ居リマス、大臣ノ御考ニナッテ居ル點ヲ能ク御相談ノ上御答辯ヲ願ヒタイ、ドウ云フヤウニシテ、今考ヘテ、ドウ云フ工合ノ工策ヲ是カラヤラウト云フノデアリマスカト云フコトニ付テ、御答辯ヲ得タイ

○男爵中島久萬吉君 ソコデチョット關聯シ

テ居リマス、私ノ考違カモ知レマセヌガ、取引所ト米穀集中ト云フコトニ付テ、實ハ多大ノマダ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、從ッテ此ノ御配付戴キマシタ資料ノ中ニモアルカト思フノデアリマスカ、今度新シク出來マスル此ノ米穀會社ノ收入ノ豫算ト云フモノガ、是ハドウモ餘程マダ私ハツキリシナイ點ガアル、今チョット書イテ見タノデスカ、ヒョット違ッテ居ルカモ知レマセヌ、私ノ數字ガ若シ違ッテ居リマシタナラバ御訂正ヲ戴キタイ、其ノ目論見書ニ依リマスルト、新會社ノ收入總額ト云フモノガ三百二十九萬六千三百六十四圓トナッテ居リマス、此ノ中ニ第一ノ項目トシマシテ、米穀市場業務收入ト云フモノガ百四十六萬二千二百圓、此ノ内譯ヲ大體拜見致シマス、大キナ項目ハ臺灣米ノ受託ニ伴フ、受託賣却ニ伴フ手数料、ソレカラ政府米ノ賣却受託取扱手数料ト云フモノガ大キナ「アイテム」ヲ構成シテ居ル、實ハ今ノ松村委員ノ御質問ノ第七條ノ發動ナンデアリマスカ、コイツガ本當ニ發動シテ來ルト政府米ヲ賣却スルトカ何トカ云フヤウナコトハ、此ノ米穀會社ヲ通ジテオヤラセニナルノデアリマセウカ、モウ最高、最低ノ價格ガ決ッテシマッテ居ルノデアリマスカラ、

政府米ノ取扱ニ付テ、果シテ此ノ米穀會社ヲ通ジテオヤラセニナル必要ガアルカドウカト云フ點モ考ヘラレマス、又只今申上ゲマシタ場外取引トカ、或ハ轉賣、買戻ノ甘味ガナクナツタ爲ニ起リマス場外取引ノ助長、助長ト言フト、少シ語弊ガアリマスルガ、サウ云フ場外取引ニ移ル傾向ヲ生ジヤシナイカト云フコト、斯ウ云フコトガ一つソレト集中ノ點ニ付テノ疑ガアリマスルガ故ニ、ドウモ皆收入ガ果シテ此ノ業務收入トシテ上リ得ル餘地ガアルデアリマセウカドウカト云フコトヲ實ハ疑フノデアリマス、是ハ率ガ一石ニ付テ四厘トカ八厘トカ云フ風ニ定ッテ居リマスカラ、斯ウ云フ計算ガ生ズル基礎數字ハ、是ハ成立ッテ居ルヤウデアリマスカ、私ハ實ハ今度ノ米穀市場ノ業務收入ト云フモノガ果シテ斯シナニアリ得ルノカドウカト云フ點ヲ寧ロ危ブンデ居リマス一人デアリマス、尙其ノ次ニ米穀取扱業務收入ト云フノガアリマスカ、是ハ一體ドウ云フ風ナ收入デアリマスルカ、ハツキリ實ハマダ研究ヲ致シテ見マセヌガ、此ノ内容ヲ一ツ御説明シテ戴キタイト存ジマスルト同時ニ、只今申上ゲマシタ此ノ會社ノ收入ノ由ッテ來リマス根據ヲモウ少シ事實ニ付テ、事實ト云フコトハナイガ、御見込デア

リマセウガ、何カ基礎的ニ御取調ニナッテ居ル所ガゴザイマスナラバ、ソレモ一ツ此ノ際承ッテ見タイト存ジマス、チョット其ノ二點ダケ……

○政府委員(周東英雄君) 極ク簡單ニ申上ゲマス、只今御話ノ米穀市場業務收入ニ付キマシテハ、此ノ中ニ大體新シク設ケマスル市場ノ中、實物取引トシテ市場ニ販賣致サレマスル數量ニ付テノ手数料、是ハ賣買手数料、一石ニ付キマシテ四厘ト見テ居リマスガ、是ハ賣方又ハ買方カラ一方ニナッテ居リマス、之ヲ大體年五萬八千四百圓ヲ豫定致シテ居リマス、ソレカラ荷役ノ取引トシテ賣買サレマス數量ニ付テノ手数料、是ハ一石ニ付イテ四厘、雙方カラ取りマスカラ、一石八厘デゴザイマス、之ニ付キマシテノ收入豫定ガ約九萬一千二百餘圓、ソレカラ延取引ニ付テ賣買セラレタモノニ付テノ手数料、是ハ大體一石ニ付キマシテ八厘、賣買雙方ヨリ取りマスルノデ、其ノ手数料ノ總額ヲ約二十萬一千六百餘圓ト見積ッテ居リマス、ソレカラ臺灣米ノ受託賣却手数料ニ付キマシテ一石ニ付キマシテ十五錢、是ハ千分ノ六ト云フコトニナッテ居リマス、ソレニ付テノ收入豫定ガ七十二萬圓、政府ノ買入賣却等ニ付テノ委託、受託業務ニ付キ

マシテ手數料一石ニ付テ十九錢五厘、總額三十九萬餘圓ノ收入ヲ豫定致シテ居リマス、是等ノ合計ガ業務收入デゴザイマス、ソレ

カラ米穀取扱業務收入、此ノ方ニハ大體其ノ一ツハ所有倉庫ノ收入デアリマシテ、新市場ガ舊來ノ取引所等カラ買收致シマシタ倉庫ト云フモノニ付キマシテ、其處ニ取引致サレマスル米ニ付キマシテ之ヲ保管ヲ致シテ參ル譯デアリマス、之ニ關シマシテ一箇月保管料ガ八錢デアリマス、之ニ付テ大體其ノ收入豫定ガ四十四萬二千餘圓ニナツテ居リマス、同時ニ之ニ關係致シマシテ荷役等ガアリマスルノデ、之ニ關スル收入ガ約二十七萬餘圓ニナツテ居リマス、モウ一ツハ荷役、荷扱元請收入ト假ニ名前ヲ附ケテ居リマスガ、是ハ先程申シマシタヤウニ、消費市場地域ニ於テ賣買致サレマスル米穀、即チ產地等カラ買上ゲマシタ問屋等ノ爲ニ或ハ爲替ノ立替、或ハ運送ニ付キマシテ取纏メテ、之ヲ運送業者ニ世話ヲシテヤルト云フヤウナコト、或ハ荷揚、荷卸シト云フヤウナ、是ハ產地及ビ消費地ニ於テ買受ケタ場合ニ於テ、或ハ積込ノ費用、或ハ積卸シノ費用ト云フヤウナ事柄ニ付キマシテモ、取纏メテ世話ヲ致シテ、之ニ關スル手數料等ヲ均ラシテ九錢位ニ考ヘテ居リマスガ、是等ノ諸取引ノ收

入ガ百五萬餘圓トナツテ居リマス、大體只今御示ノ點ニ付キマシテノ内容ハ以上ノ通りデゴザイマス

○男爵中島久萬吉君 チョットモウ一遍念ノ爲ニ……御尋ガ重複致シマシテ恐縮デアリマスガ、サウスルト、大體斯ウ云フ風ニ了解シテ宜シウゴザイマスガ、書取ッテ見タンデスガ、米穀取扱業務收入ト云フモノハ、大體其ノ會社ノ倉庫ニ於ケルデスナ、保管料、是ハ賣買サレマシタ米ヲ保管スル爲ノ、マアソレニ對スル手數料、是ガ一ツ、ソレカラ荷役收入ト云フノデスカ、荷役收入トデモ云フノカ、其ノ外運賃爲替ノ立替ニ對スル手數料、斯ウ云フ三ツガ入ッテ居ル譯デアリマスガ、大體サウ心得テ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(周東英雄君) 御話ノ通りデゴザイマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 如何デアリマスガ、今日ハ此ノ程度デ質問ヲ終リマシテ、又明後日午前十時ヨリ質問ヲ續行致シタイト思ヒマス、今日ハ是デ散會致シマス

午後三時四十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵酒井 忠正君
副委員長 男爵矢吹 省三君

委員

公爵島津 忠承君
侯爵佐竹 義春君
子爵梅小路定行君
子爵米津 政賢君
子爵伊東二郎丸君
子爵鍋島 直繩君
子爵織田 信恒君

説明員

農林省農務局長 小濱 八彌君
農林省米穀局長 周東 英雄君
商工政務次官 今井 健彦君
商工書記官 末永 衛君

國務大臣
農林大臣 櫻内 幸雄君
政府委員
農林政務次官 松村 謙三君

昭和十四年三月二十三日印刷

昭和十四年三月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局